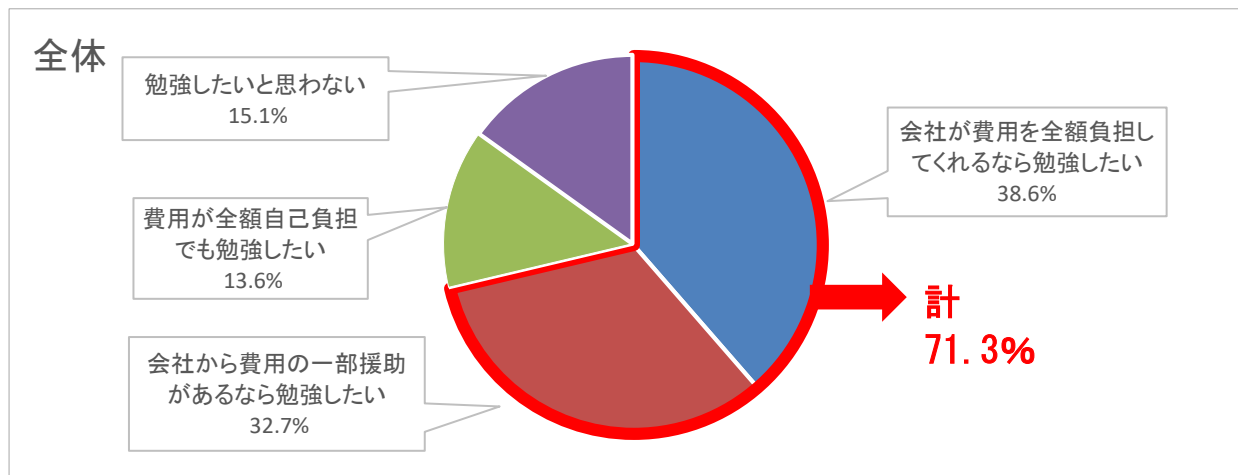


2019年度（第30回）

新入社員の会社生活調査

注目データ

- ・業務時間外での勉強は“会社の援助があれば”学びたい…71.3%



- ・副業制度があれば“利用したい”…64.0%（昨年度比7.4ポイント増）
- ・「転勤せずに同じ場所で働きたい」…36.4%（過去最高）
- ・1か月に許容できる残業時間“1～10時間”…18.3%（過去最高）

目次

- 総 括・・・P. 1
- 注目データ・・・P. 2 ～ P. 3
- 調査概要・・・P. 4
- 調査結果・・・P. 5 ～ P. 11
- データ集・・・P. 13 ～ P. 35

学校法人産業能率大学 総合研究所（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2019年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

調査は3月28日から4月10日まで、本学の産能マネジメントスクールが開催する「新入社員セミナー」に参加した104社442人の新入社員を対象に実施し、429人（男性281人・女性148人）から有効回答を得ました。

この調査は1990年度から「新入社員の会社生活調査」として継続して実施し、今年度で30回となります。

総括

働き方改革が叫ばれる昨今、1か月間の残業時間について何時間なら許容できるかと尋ねたところ、“1～10時間”とする回答が昨年よりも増えて過去最高となりました。（問8）

時間に余裕ができると、仕事以外の時間の使い方が重要になります。そこで今年度の新入社員に、業務時間外に勉強したいかを初めて尋ねました。“勉強したい”とする新入社員は全体で約85%となり、学習意欲が高いことがわかりました。自分磨きの意識は高いようです。学習のための費用負担については、「全額自己負担でも勉強したい」とするのは13.6%で、残りの約71%は会社からの援助を求めています。（問11）

また、働き方改革の一環として関心が高まっている「副業」について、会社に副業が可能な制度があった場合に利用したいかを尋ねました。その結果、64.0%が“利用したい”（「利用したい」＋「どちらかといえば利用したい」）と回答し、昨年度から7.4ポイント増加しました。昨年は“副業元年”とも言われ、従業員の副業を認める動きが広がる可能性が指摘されています。新入社員も副業に期待している様子が見えます。

同様に利用したいかを尋ねた「テレワーク」と「時差出勤」は、それぞれ約60%、約83%と望む声が多く、いずれも昨年度よりも高くなっています。ここでも働き方に対する多様なニーズが見てとれます。（問10）

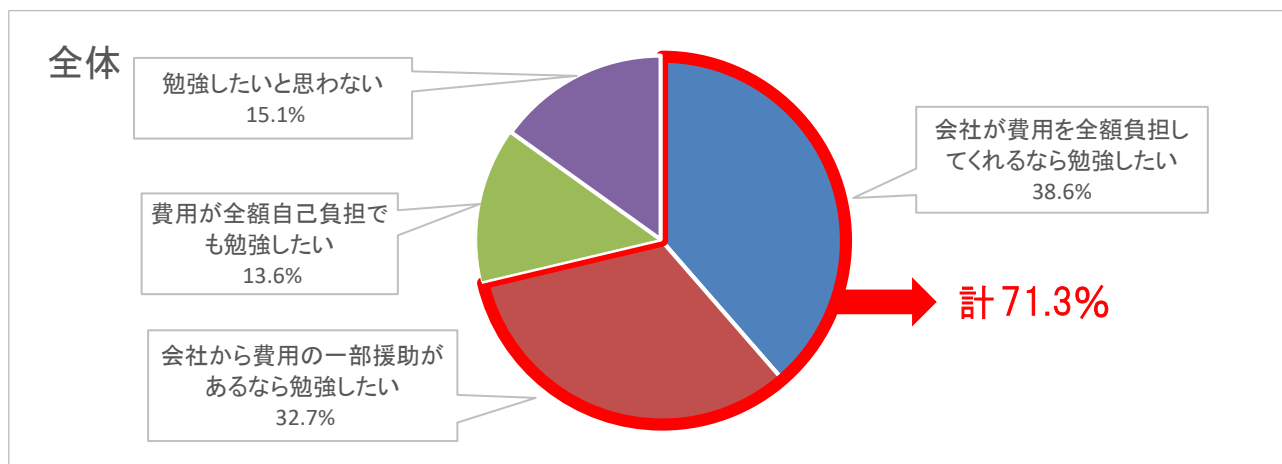
転職についての質問では、「一度も転職せずに同じ場所で働き続けたい」が昨年度から約10ポイント増の36.4%と過去最高となりました。一方、「転居の有無、期間に関係なく転職してもよい」は、昨年度から2ポイント減の21.6%と過去最低となりました。（問9）

「LINEなどのメッセージアプリを業務でも使用したいか」については、「使用したい」が昨年度から11.5ポイント増の62.2%となり、ビジネスシーンでの利用希望が増加しています。ちなみに調査項目には入っていませんが、新入社員セミナーの中にビジネス文書について学ぶ研修がありますが、Eメールを一度も使ったことがない受講者が少なからず存在します。今どきの新入社員にとっての連絡手段は、メールではなくメッセージアプリとなっているようです。（問20）

また、「あなたは上司からSNSで友達申請があったらどう思いますか」では、「嬉しい」が昨年度を5ポイント上回って15.8%となり、こちらでもネットを介したコミュニケーションの拡大が進んでいます。（問21）

注目データ

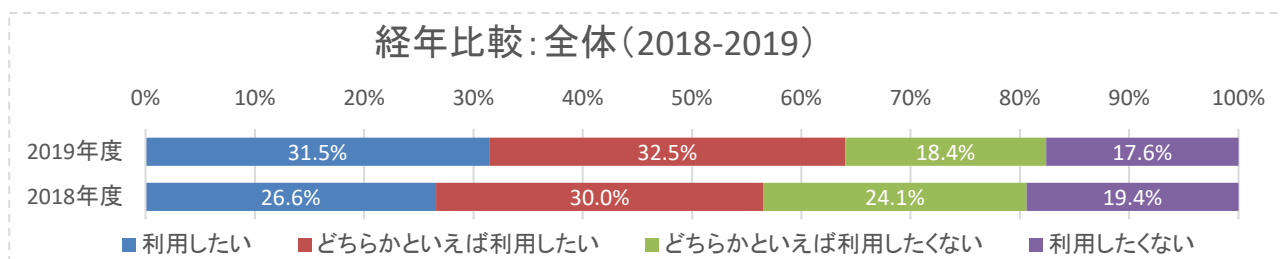
◆業務時間外での勉強は“会社から援助があれば”⇒約71%



業務時間外でセミナーや通信研修、学校、自習などの勉強をしたいかを尋ねました。その結果、「会社が費用を全額負担してくれるなら勉強したい」が38.6%、次いで「会社から費用の一部援助があれば勉強したい」が32.7%となり、会社からの援助があれば勉強したいとする新入社員は、合わせて71.3%となっています。「費用は全額自己負担でも勉強したい」とする積極派も13.6%に上り、「勉強したいと思わない」とする新入社員は15.1%にとどまりました。

◆副業制度があれば“利用したい”⇒64%

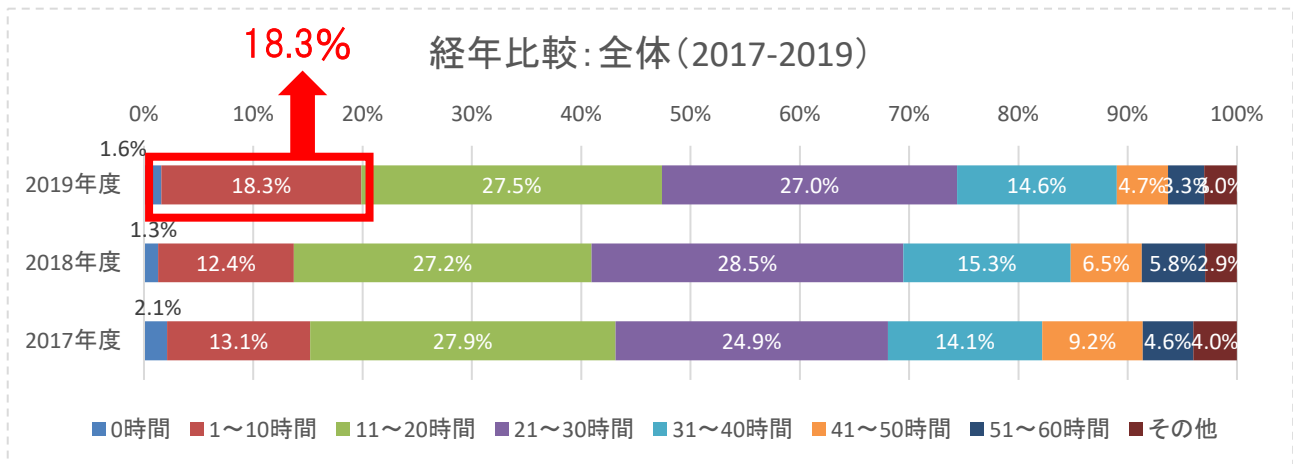
昨年よりも7.4ポイント増加



働き方改革の柱の一つとして、副業を制度として認める施策の拡大があります。会社に副業の制度があった場合の利用意向を聞きました。その結果、「利用したい」が31.5%、「どちらかといえば利用したい」の32.5%を合わせると64.0%が“利用したい”としています。昨年度に比べ7.4ポイント増加しました。

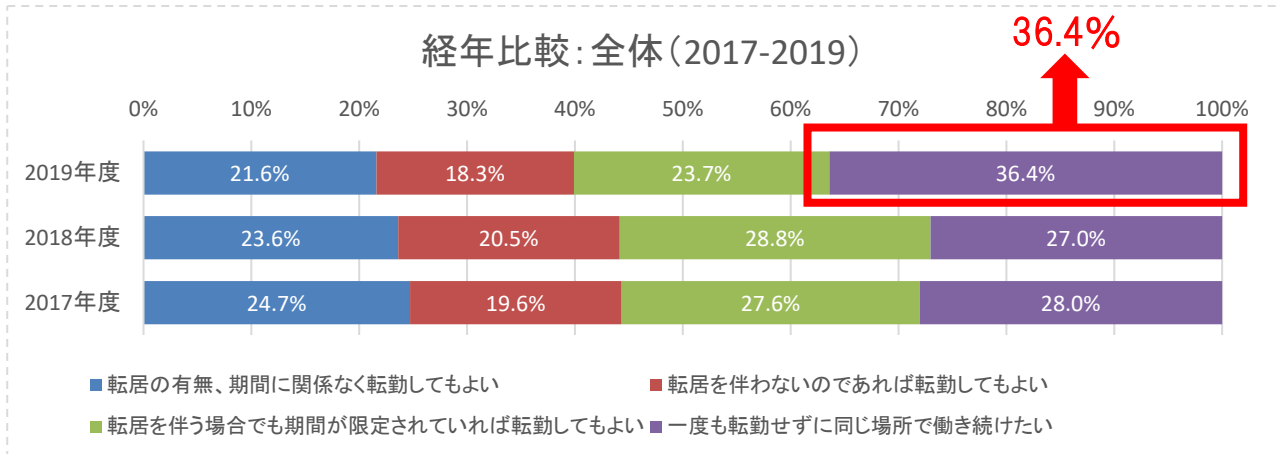
また、同様にテレワークと時差出勤について尋ねたところ、テレワークについては「利用したい」が35.2%、「どちらかといえば利用したい」が31.1%で、合わせると66.3%が“利用したい”としています。時差出勤については「利用したい」が53.8%、「どちらかといえば利用したい」が29.6%で、合わせると83.4%が“利用したい”としています。対昨年度比では、テレワークが0.5ポイント、時差出勤が3.5ポイントの増加となっています。

◆ 1か月に許容できる「残業時間」は“1～10時間”が過去最高



1か月間にどの程度の残業時間なら許容できるかを尋ねると、21時間以上は軒並み減少する一方で、「1～10時間」が昨年度を大きく上回り過去最高の18.3%となりました。一方、41時間から60時間までの回答は合計で8.0%と昨年度(12.3%)から4.3ポイント減少しています。働き方改革が唱えられる昨今ですが、新入社員は残業を避けたいという意識が強くなっています。

◆ 「転勤せずに同じ場所で働きたい」 ⇒ 約36%



転勤について尋ねると、「一度も転勤せずに同じ場所で働きたい」とする回答が36.4%で、昨年度よりも9.4ポイントと大幅に増加しました。

◆ 「年金に期待しない」 ⇒ 約68%

将来支給される公的年金(国民年金・厚生年金等)を老後の収入として期待しているか尋ねたところ、「期待していない」(34.7%)と「どちらかといえば期待していない」(33.6%)を合わせた68.3%が年金に期待していないことがわかりました。昨年度(62.2%)よりも6.1ポイント増えています。

調査概要

1. 調査対象 産能マネジメントスクール主催の新入社員セミナー参加者のうち
104社442人
2. 調査時期 2019年3月28日～4月10日
3. 調査方法 書面アンケートによる回答肢選択方式
4. 有効回答 429人
(男性281人・65.5%/女性148人・34.5%)

5. 回答者所属企業プロフィール

(従業員数)	100人未満	57人	(13.3%)
	100人以上 500人未満	234人	(54.5%)
	500人以上 1,000人未満	96人	(22.4%)
	1,000人以上	40人	(9.3%)
	無回答	2人	(0.5%)
		429人	(100.0%)
(上場区分)	上場企業	147人	(34.3%)
	非上場企業	242人	(56.4%)
	企業以外の法人・団体	28人	(6.5%)
	無回答	12人	(2.8%)
		429人	(100.0%)
(本社所在地)	北海道	0人	(0.0%)
	東北	10人	(2.3%)
	関東	369人	(86.0%)
	中部	4人	(0.9%)
	近畿	37人	(8.6%)
	中国	2人	(0.5%)
	四国	0人	(0%)
	九州	5人	(1.2%)
	その他	2人	(0.5%)
		429人	(100.0%)

**2019年度 新入社員の会社生活調査
調査結果**

1. 就職

- ・就職活動「大変だった」 ⇒ 減少傾向に
- ・就職の結果には「満足」 ⇒ 94%

1-1. 就職活動を振り返って

2019年度入社の新入社員に就職活動を振り返ってもらったところ（P. 14/問1）、「かなり大変だった」は23.6%、「思ったより大変だった」は44.9%で、合わせて昨年度と同じく68.5%が“大変だった”と回答しました。「かなり大変だった」は昨年度比-2.9ポイントとなっており、2009年度以降で最低の割合となりました。就職環境は着実に好転をみせています。

1-2. 就職先の満足度

一方、『就職活動の満足度』（P. 15/問2）については、「たいへん満足」が47.1%、「やや満足」が47.1%で合わせて94.2%が“満足”していると回答しました。この設問は1994年度から継続して尋ねており、昨年度過去最高を記録した“満足度”に今年度は0.6ポイント及びみせんでしたが、2013年度以降はほぼ同様の高い数値で推移しています。

1-3. 就職先選び

『就職先を選ぶ際に重視した点』（P. 16/問3）は、「業種」が最も高く54.5%、「職務内容」（49.4%）、「福利厚生」（45.9%）がトップ3となりました。

トップ3の項目は男女とも同じですが、順位は異なり、男性は「業種」「職務内容」「福利厚生」の順番で、女性は「福利厚生」「職務内容」「業種」の順番でした。

2. キャリア・働き方

- ・働く上で重要なこと 「仕事を通じて自分自身が成長すること」 ⇒58%
- ・働き始めるにあたって不安なこと 「上司・先輩とうまくやっていけるか」⇒67%
- ・将来の進路 「独立して自分の会社を立ち上げる」 ⇒2013年度以降最高

2-1. 働く上で重要なこと

『働く上で重要だと思うこと』(P. 17/問4)は、「仕事を通じて自分自身が成長すること」(58.3%)が最も多く、「長期間、安心して働けること」(54.8%)が続いています。

2015年度からの経年で比較すると、「組織や社会に貢献すること」や「職場のメンバーから認められること」、「自分の意思で仕事に取り組めること」が、それぞれ過去最低となっています。

2-2. 働き始めるにあたって不安なこと

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』(P. 18/問5)は、「上司・先輩とうまくやっていけるか」(67.6%)、「自分の能力で仕事をやっていけるか」(62.7%)が半数を超えています。

2015年度からの経年で比較すると、あまり大きな変動はありませんが、昨年度との比較では、「プライベートの時間を確保できるか」を抜いて「心身を壊すことがないか」が3位に浮上しています。

2-3. 将来の進路

『将来の進路としてどのような方向を望むか』(P. 19/問6)については、「管理職」が43.4%、「担当業務のエキスパート」が46.2%と拮抗しています。昨年度は「管理職」が1.8ポイント上回っていました。

経年で見ると、「独立して自分の会社を立ち上げる」が8.2%で、2013年度以降では一番多くなっています。

- ・各種制度 「利用したい」 ⇒副業 64%/テレワーク 66%/時差出勤 83%

2-7. 各種制度

『会社に次の制度があった場合、どの程度利用したいか』（P. 23/問10）として、『A. 副業』、『B. テレワーク』、そして『C. 時差出勤』の3項目を昨年度に続き質問しました。

『A. 副業』は全体の31.5%が「利用したい」、32.5%が「どちらかといえば利用したい」で、合わせて64.0%となり、昨年度から7.4ポイント増加しています。副業が可能ならばその制度を利用することに対し、さらに前向きな姿勢になっていることがわかりました。

『B. テレワーク』については、「利用したい」（35.2%）と「どちらかといえば利用したい」（31.1%）を合わせた66.3%が“利用したい”とし、昨年度から0.5ポイント増でほぼ同率ですが、「利用したい」とするのが3.9ポイント増えています。

『C. 時差出勤』については、「利用したい」（53.8%）、「どちらかといえば利用したい」（29.6%）と合わせて83.4%が“利用したい”としています。

- ・業務時間外の勉強 「勉強したい」 ⇒85%
- ・勉強したい理由 「ビジネススキルを磨きたいから」 ⇒56%

2-8. 業務時間外での勉強

『業務時間外で勉強（セミナー、通信教員、学校、自習など）したいと思いますか』（P. 24/問11）は、84.9%が“勉強したい”としています。「費用が全額自己負担でも勉強したい」とする積極的な新入社員は13.6%でした。

また、問11で費用の援助の有る無しにかかわらず「勉強したい」とする回答者に『どのような理由でそう思うか』（P. 25/問12）を質問したところ、「ビジネススキルを磨きたいから」が55.7%でした。次いで「教養を深めたいから」（52.9%）、「担当業務や業界の知識を得たいから」（52.6%）と続きます。

さらに「勉強したい」とする回答者に『勉強はいつしたいと思いますか』（P. 25/問13）を質問したところ、「退勤後（夜活など）」が66.5%、「休日」が56.8%でした。

3. 待遇・雇用制度

- ・いつまで働きたいか 「60歳」 ⇒43%
- ・退職後には「趣味の時間を楽しむ」 ⇒74%
- ・公的年金（国民年金・厚生年金等）は「期待していない」 ⇒6ポイント増の68%
- ・35歳時点の理想の年収額は、昨年度比7万円減で608万円

3-1. 定年

先ごろ政府から、希望する人が70歳まで働き続けられる就業機会を確保するための法改正を目指すと発表されましたが、『いつまでサラリーマンとして働きたいか』（P. 26／問14）を尋ねたところ、「60歳」と回答した人が全体の43.1%（昨年度比+0.5ポイント）で最多となりました。60歳を過ぎても働きたいと回答したのは32.7%となり昨年度より1.5ポイント減少しました。一方、「50代(早期優遇退職)」が10.1%で昨年度比1.3ポイント増加しています。また「定年なし」も昨年度比2.7ポイント増の9.9%になりました。

3-2. 退職後

『前問の年代で退職したのちにやりたいことは』（P. 27／問15）を聞くと「趣味の時間を楽しむ」が74.1%で最も多くなっています。昨年度よりも減少している項目が多い中、「個人で起業」が3.8ポイント増の12.4%となっています。

3-3. 公的年金

『将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているか』（P. 28／問16）を尋ねたところ、「期待していない」と「どちらかといえば期待していない」を合わせると68.3%（昨年度比+6.1ポイント）が“期待していない”としています。

3-4. 人事制度

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』（P. 29／問17）を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が56.4%、「年功序列」が43.6%となりました。

また、『終身雇用制度を望むか』（P. 30／問18）では、「望む」が64.0%、「望まない」が36.0%となりました。「望まない」とする回答は、過去最低だった2014年度（23.7%）からは次第に増えてきています。

3-5. 理想の年収額

『35歳時点での理想の年収額』（P. 31／問19）について、加重平均値を算出したところ、全体では「608万円（6,084,352円）」で、昨年度からは約7万円減りました。

4. 情報機器・SNSの利用

・メッセージアプリを業務で	「使用したい」	⇒62%
・上司からの友達申請	男性は“嬉しい”	⇒54%
	女性は“嫌だ”	⇒63%

4-1. メッセージアプリの業務使用

『LINEなどのメッセージアプリを業務でも使用したいか』(P.32/問20)を尋ねると、「使用したい」が62.2%、「使用したくない」が37.8%となりました。使用したいとする新入社員が昨年度に比べて11.5ポイント増となりました。

4-2. 上司からのSNS“友達申請”(リクエスト)

『上司からSNSで“友達申請”(リクエスト)があったらどう思うか』(P.33/問21)という問いには、「嬉しい」が15.8%、「どちらからといえば嬉しい」が32.3%で、あわせて48.1%(昨年度比+4.7ポイント)となりました。

ただし男女差があり、女性は「どちらかといえば嫌だ」が40.0%、「嫌だ」は23.4%と、合わせて63.4%が“嫌だ”と答えています。

“嬉しい”(「嬉しい」+「どちらかといえば嬉しい」)、“嫌だ”(「嫌だ」+「どちらかといえば嫌だ」)とする回答者それぞれに理由を尋ねました。

『“嬉しい”と思う理由』(P.34/問22)は、「仕事以外で接点を持てるから」(38.1%)が最多で、「信頼されていると思うから」(31.7%)、「業務連絡等に使えるから」(22.8%)と続いています。

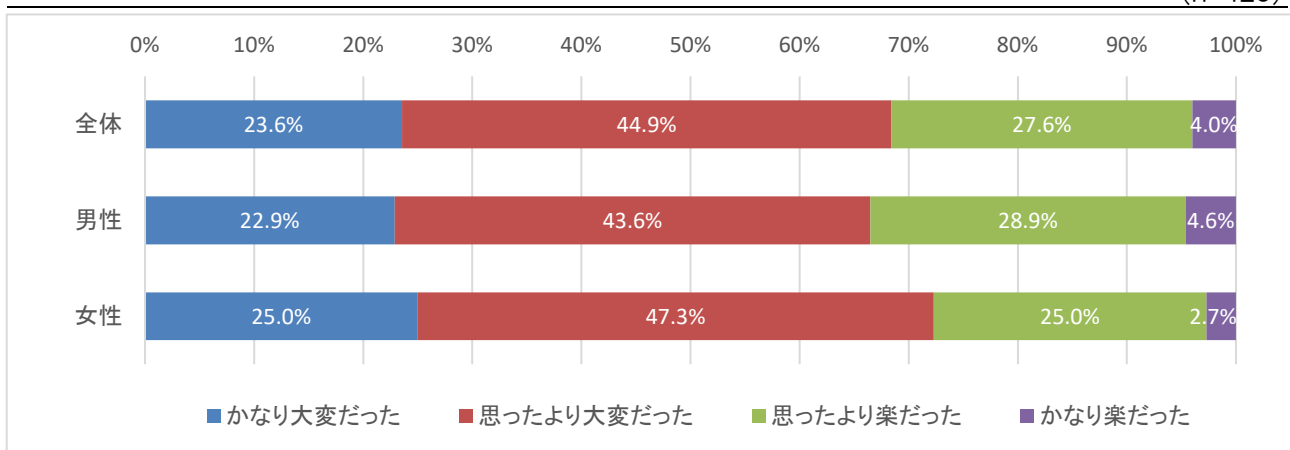
この調査は2014年度から始まっていますが、「信頼されていると思うから」は毎年増加しています。

一方、『“嫌だ”と思う理由』(P.35/問23)では、「公私は分けたいから」(71.8%)が最も多くなっています。また割合として多くはありませんが、「他の上司の申請を断れなくなるから」が7.9%と過去最高となりました。

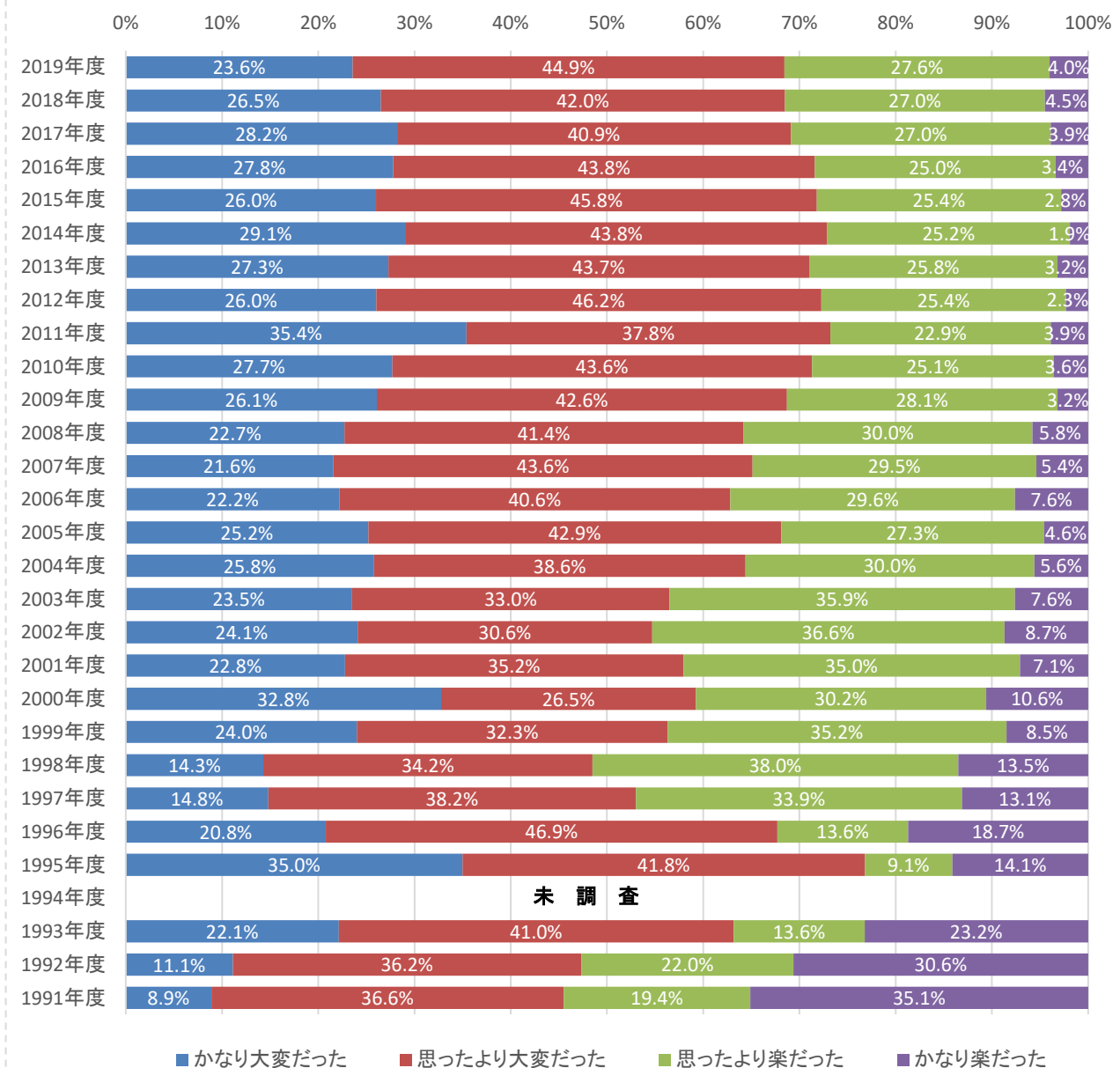
**2019年度 新入社員の会社生活調査
データ集**

問1. 就職活動を振り返って、どのように感じましたか？

(n=428)

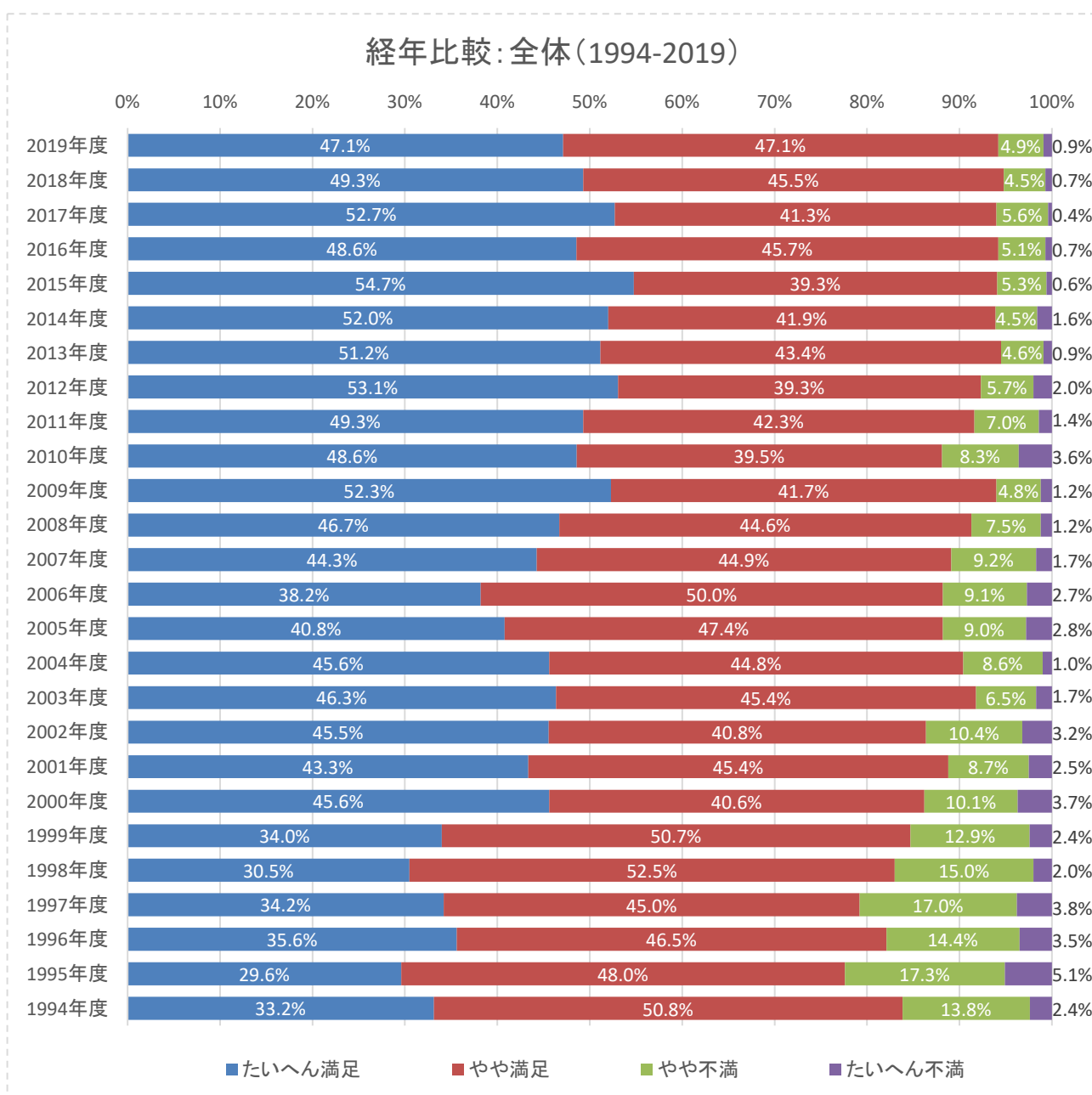
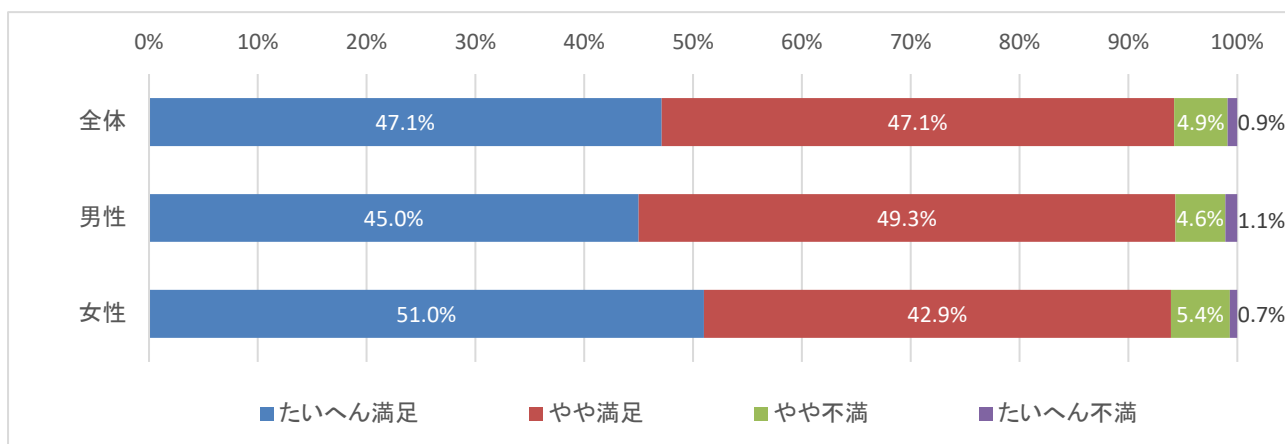


経年比較: 全体 (1991-2019)



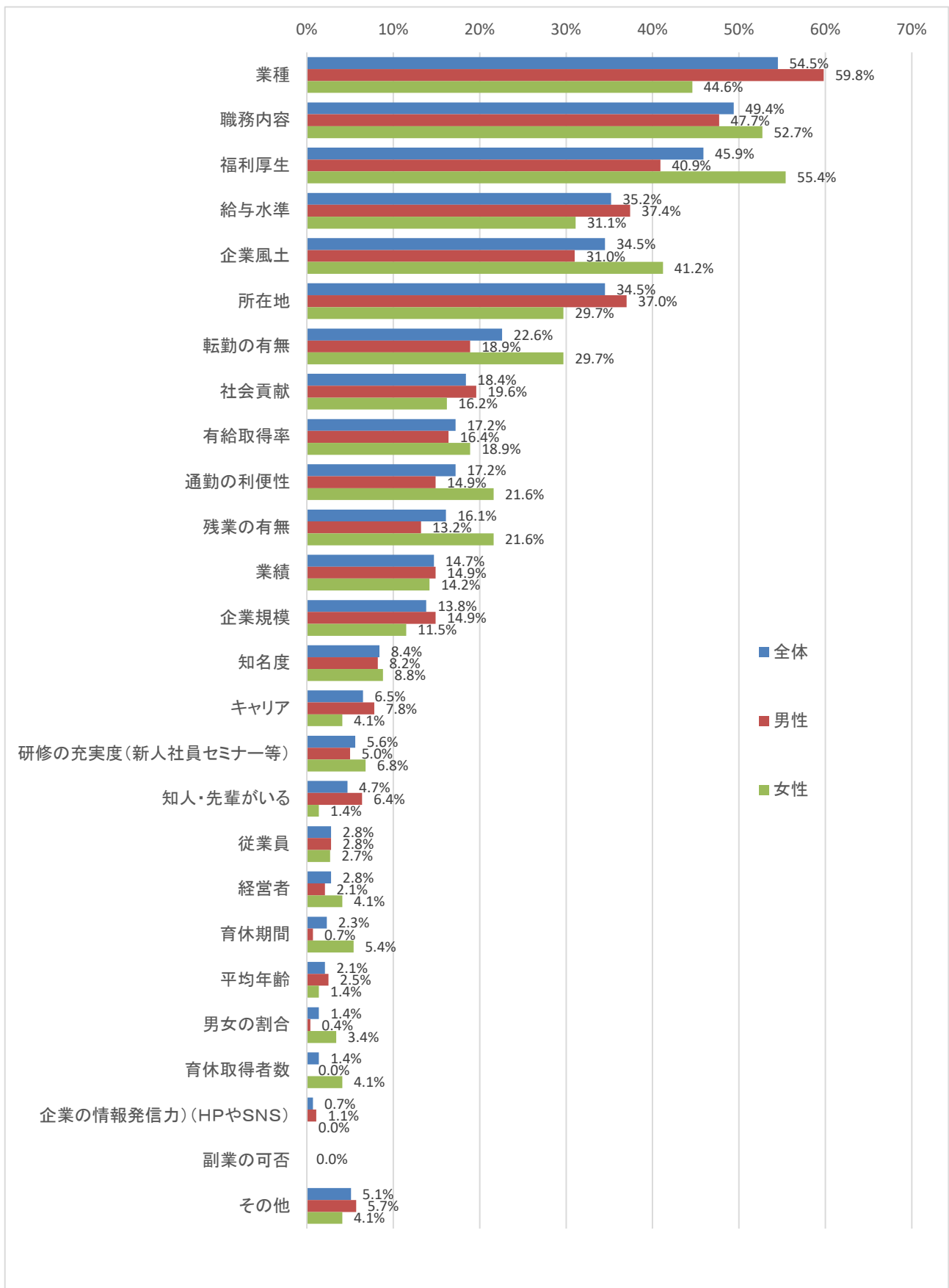
問2. 就職活動の結果に満足していますか？

(n=427)

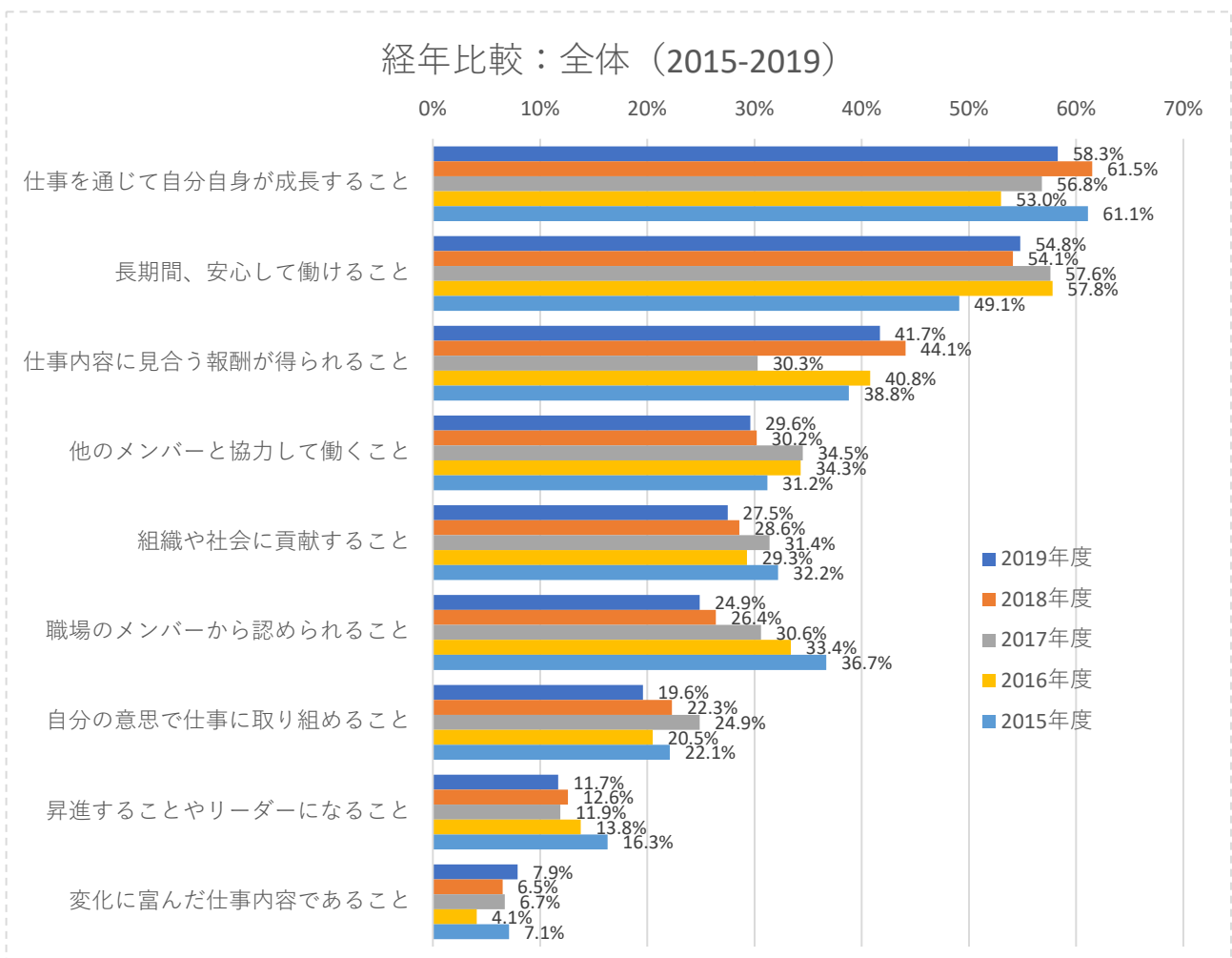
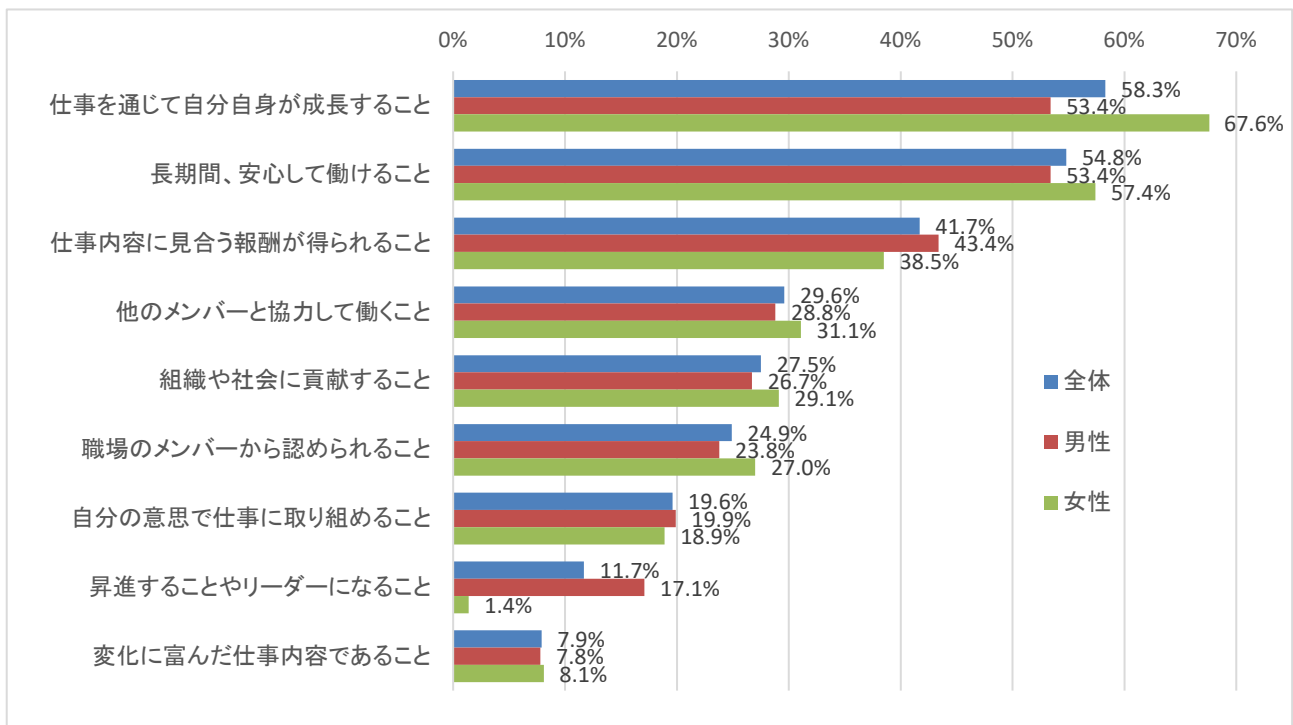


問3. 就職先を選ぶ際に重視した点は何ですか？（5つまで選択）

(n=429)

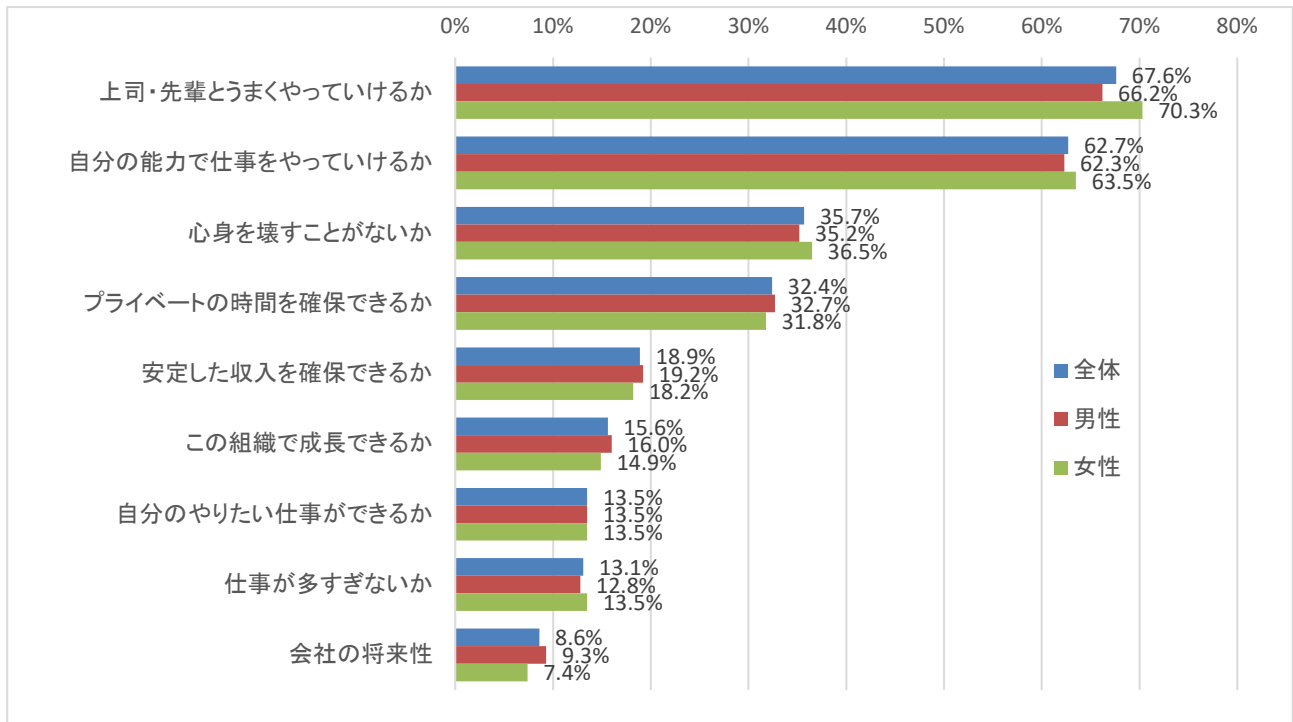


問4. あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？（3つまで選択）
 (n=429)

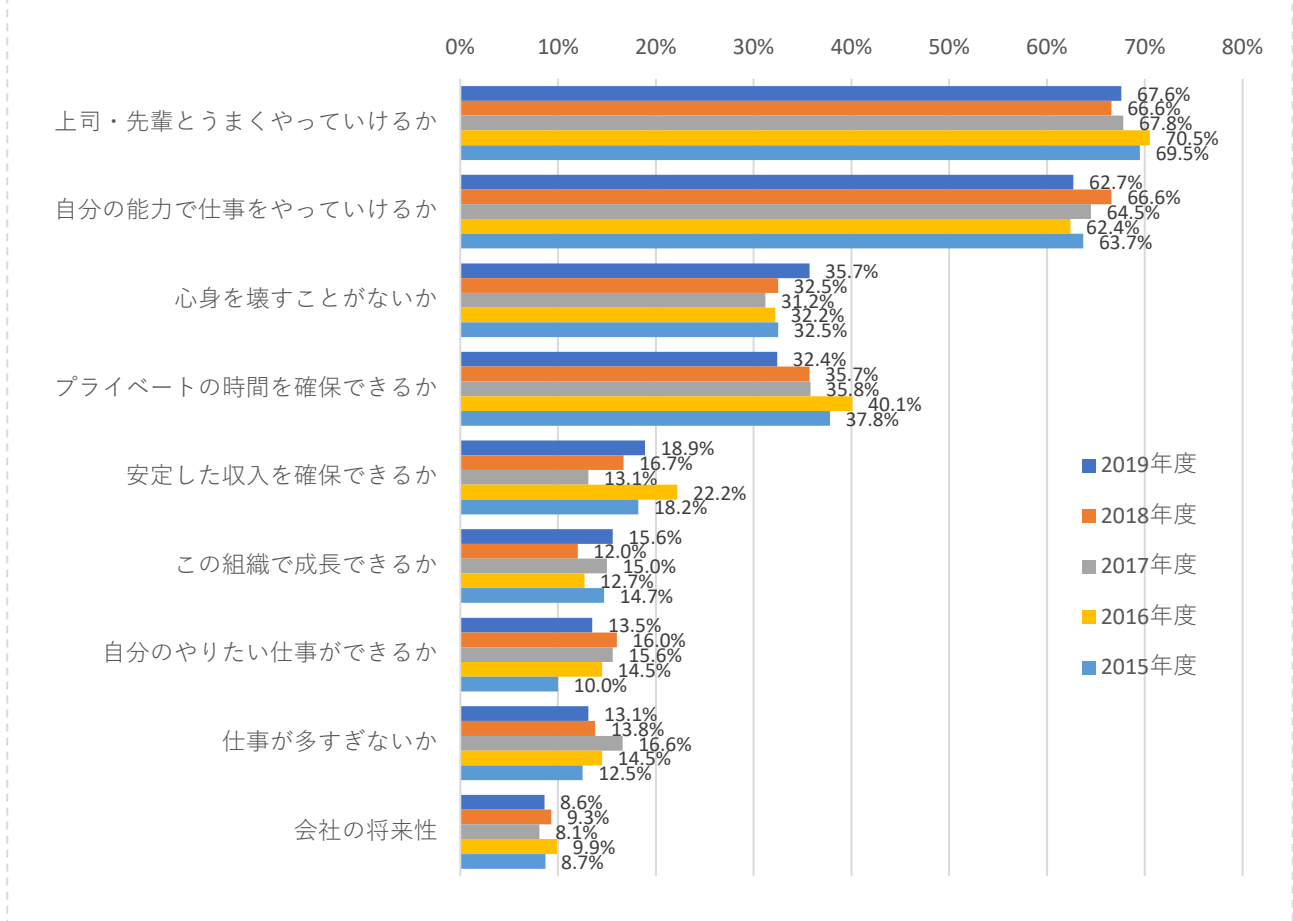


問5. 働き始めるにあたって、不安に思っていることは何ですか？（3つまで選択）

(n=429)

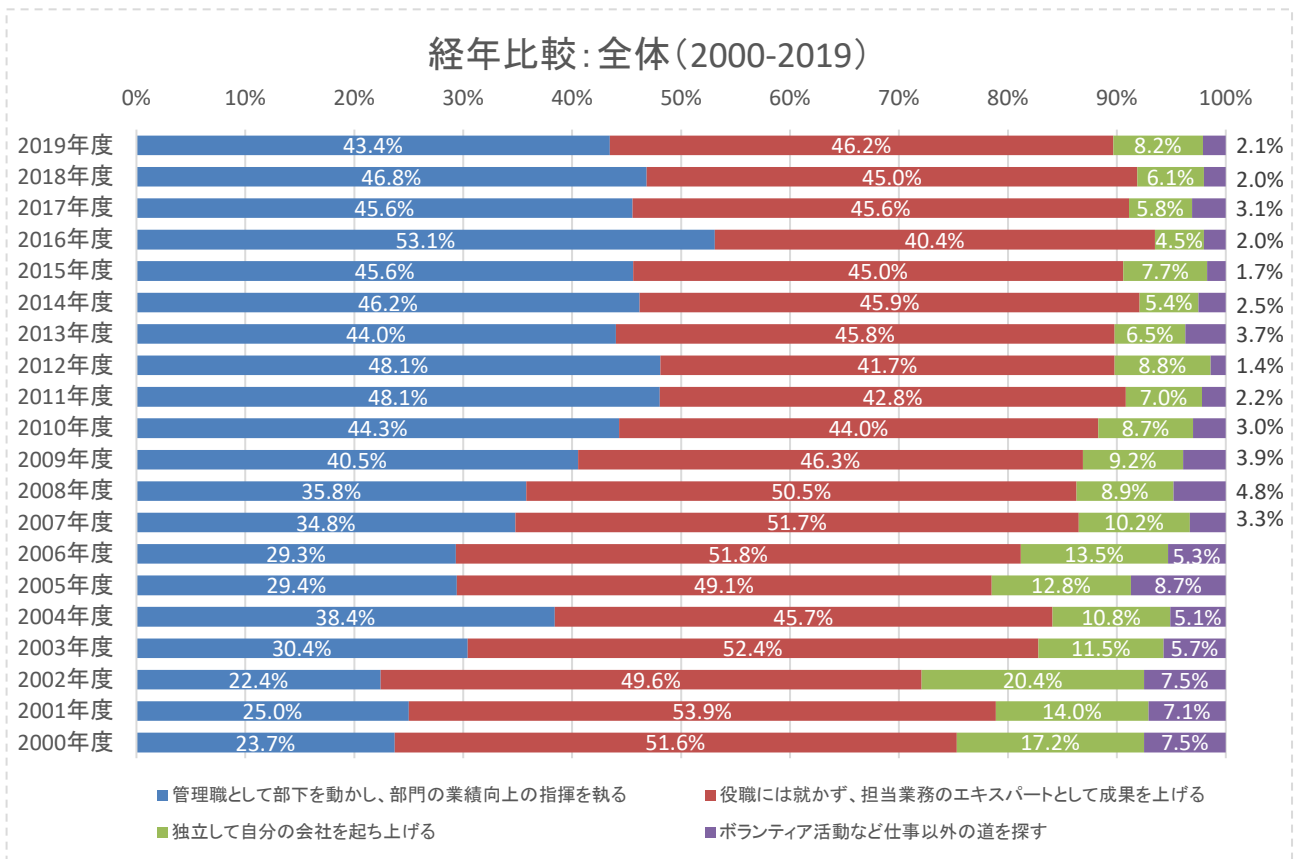
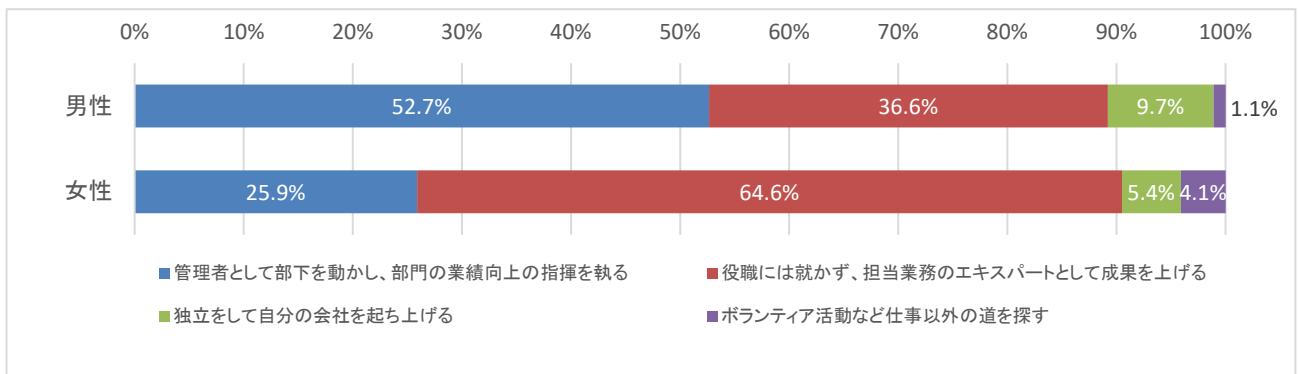
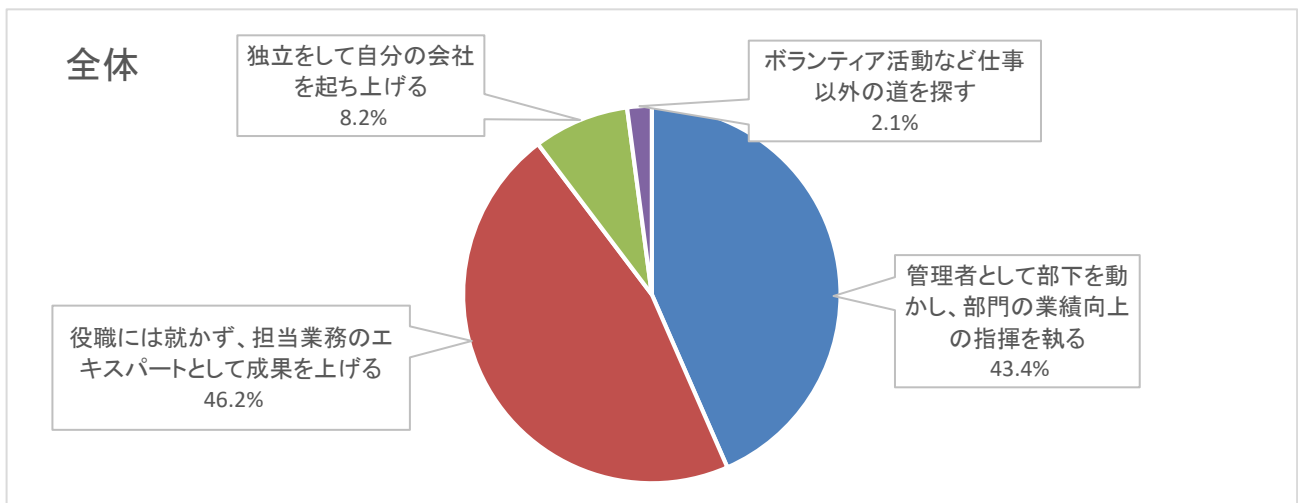


経年比較：全体（2015-2019）



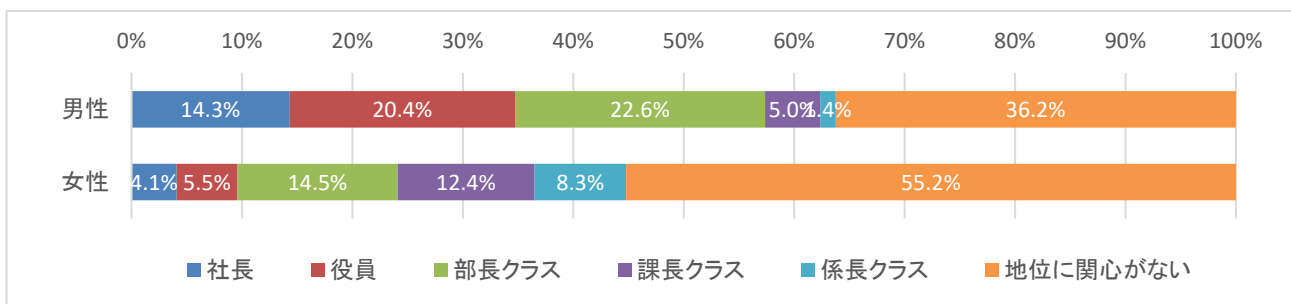
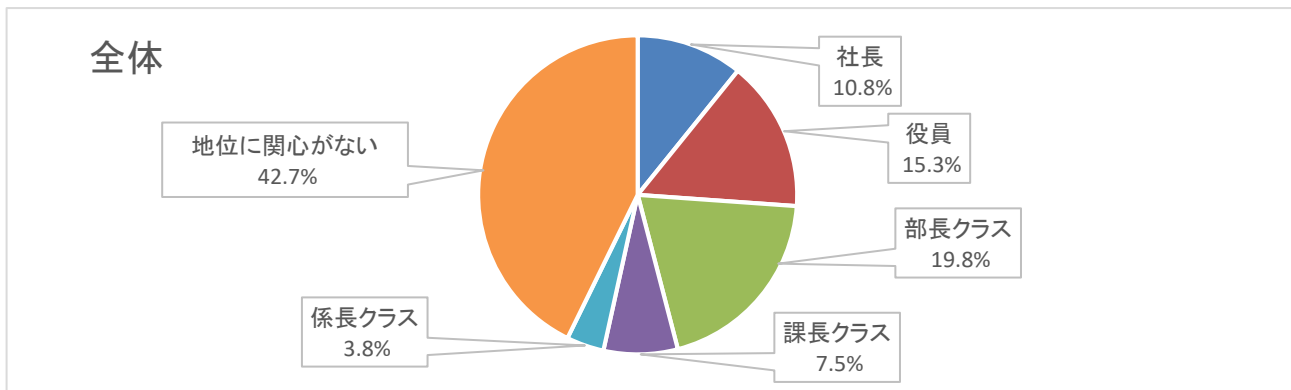
問6. 将来の進路としてどのような方向を望みますか？

(n=426)

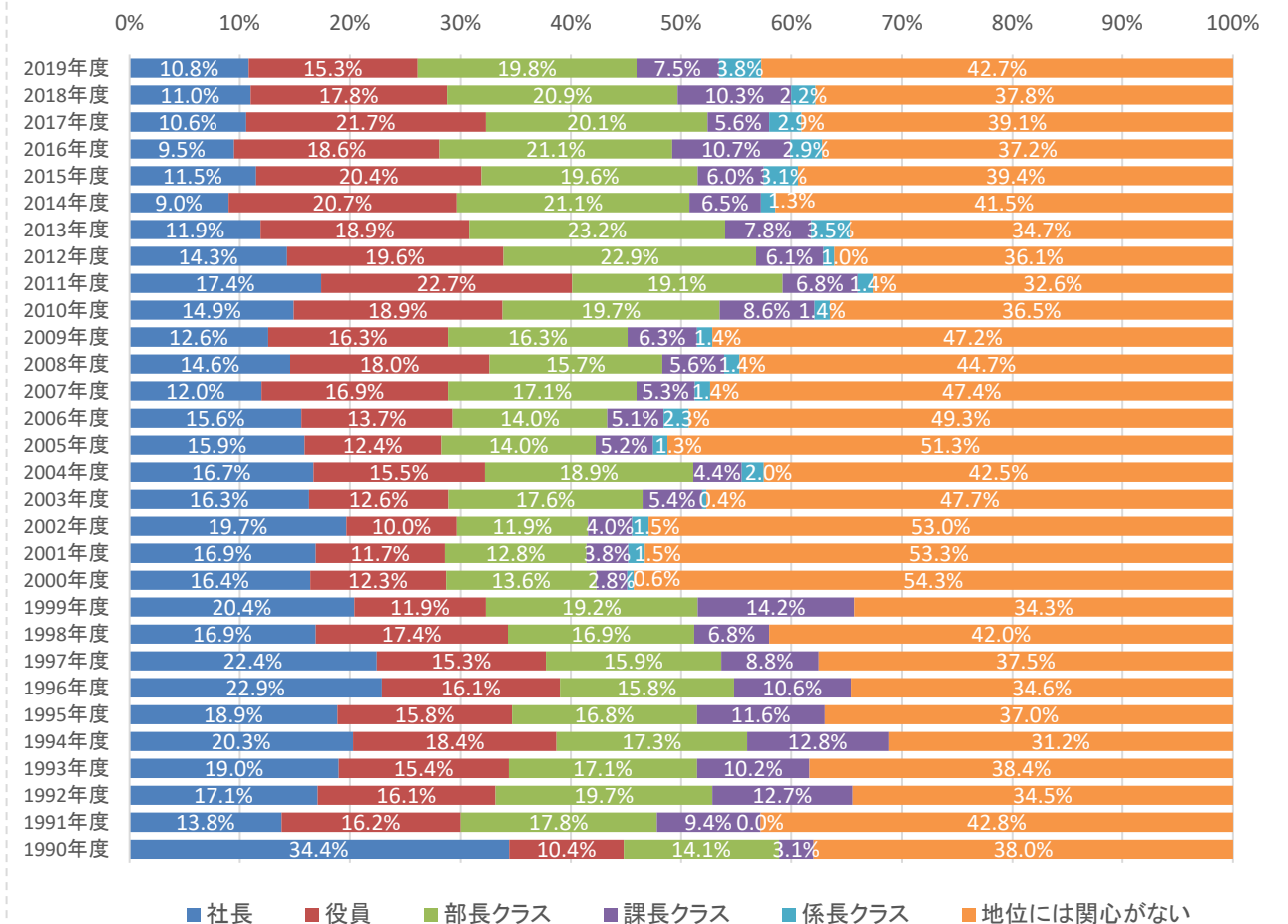


問7. あなたが目標とする役職・地位は？

(n=424)

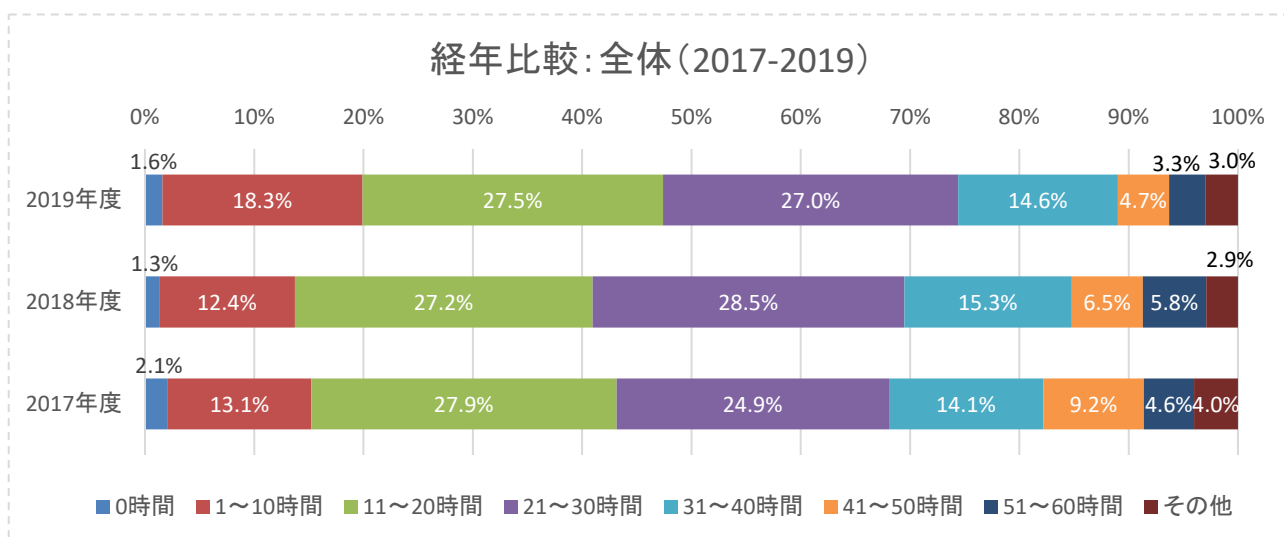
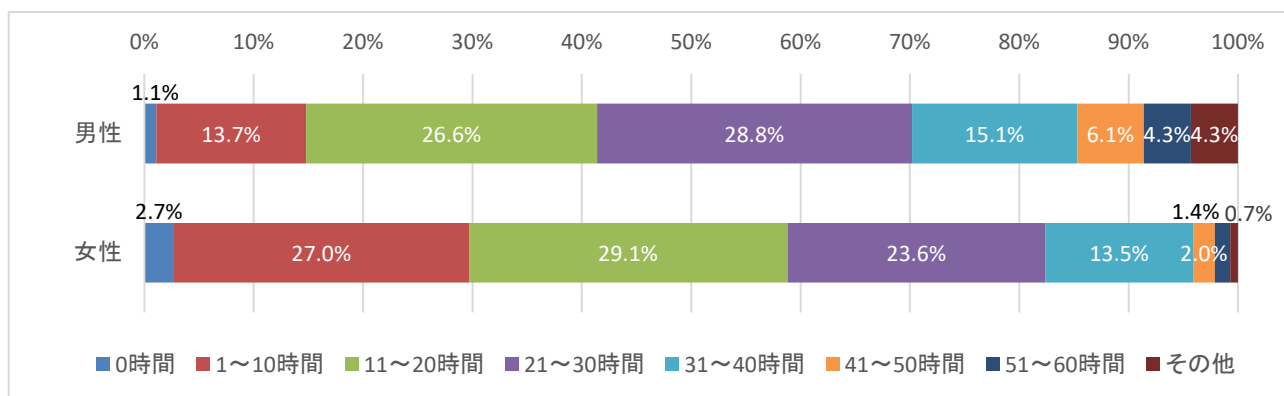
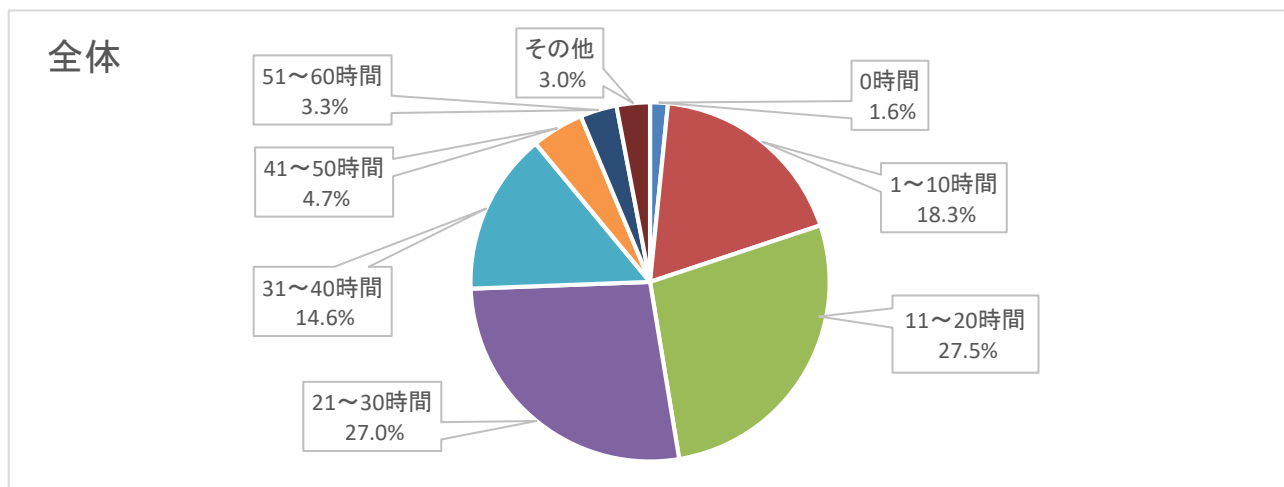


経年比較：全体(1990-2019) ※2000年度から選択肢に「係長クラス」追加



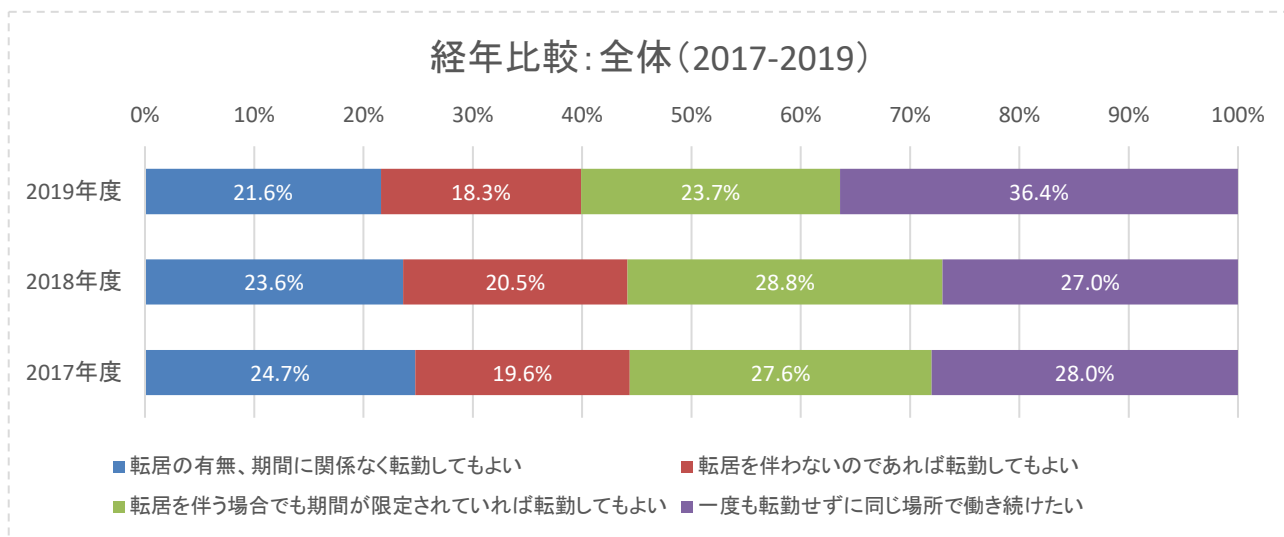
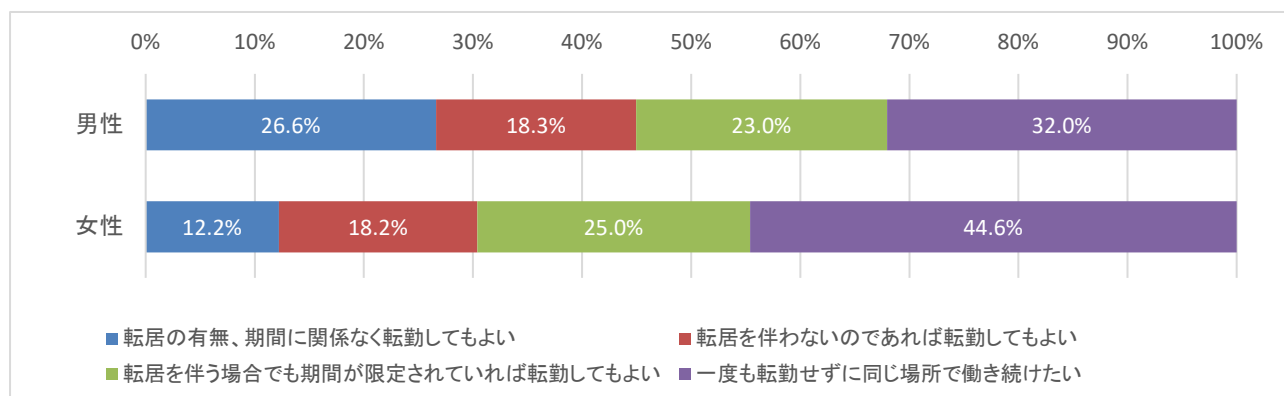
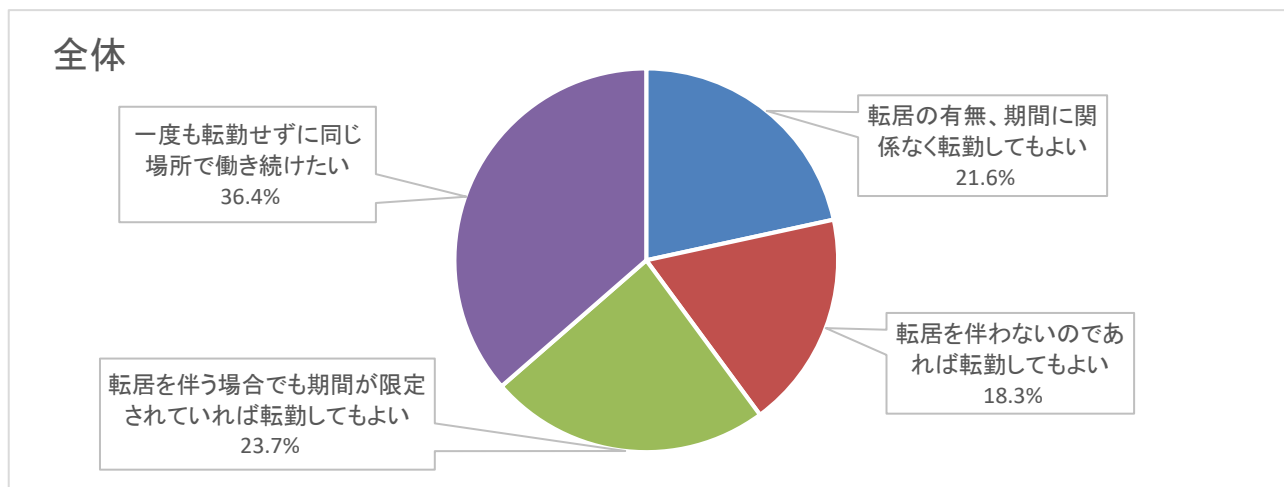
問8. 1か月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？

(n=426)



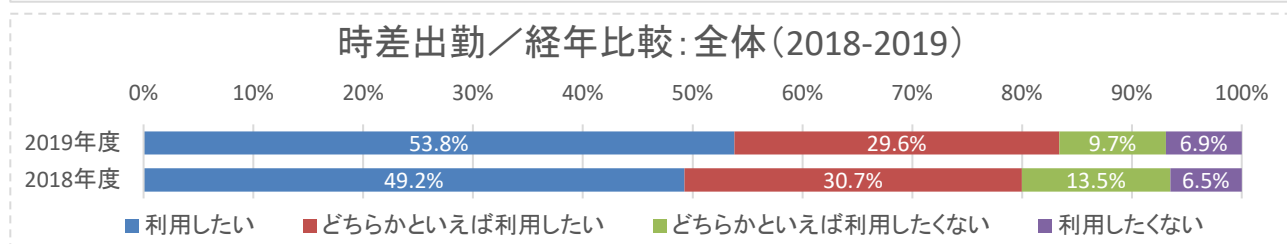
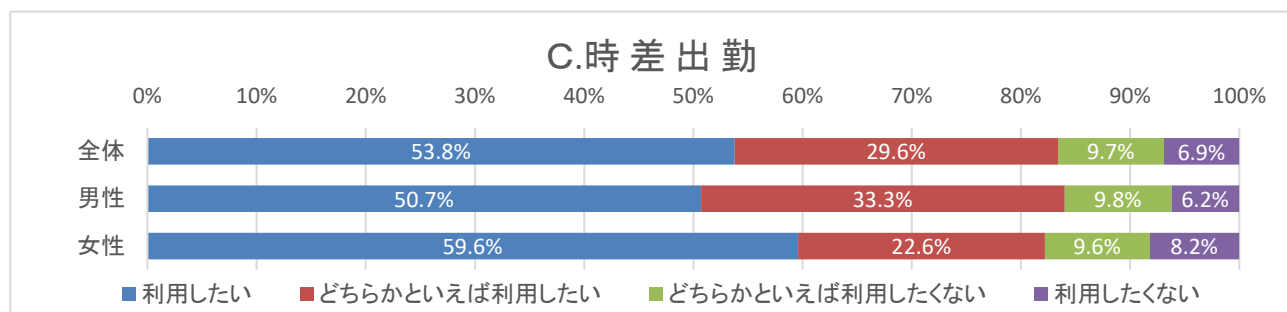
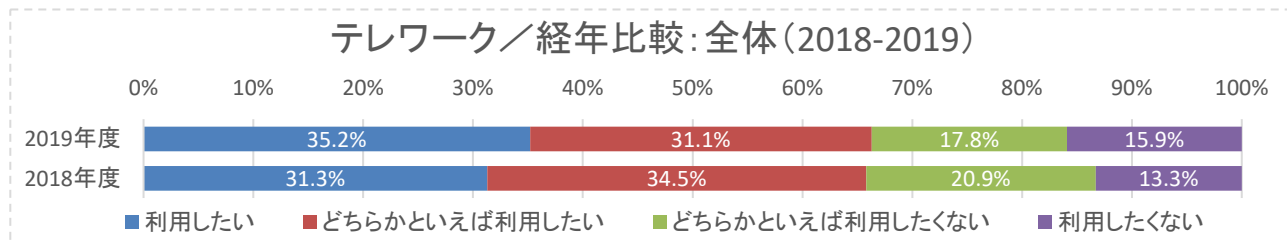
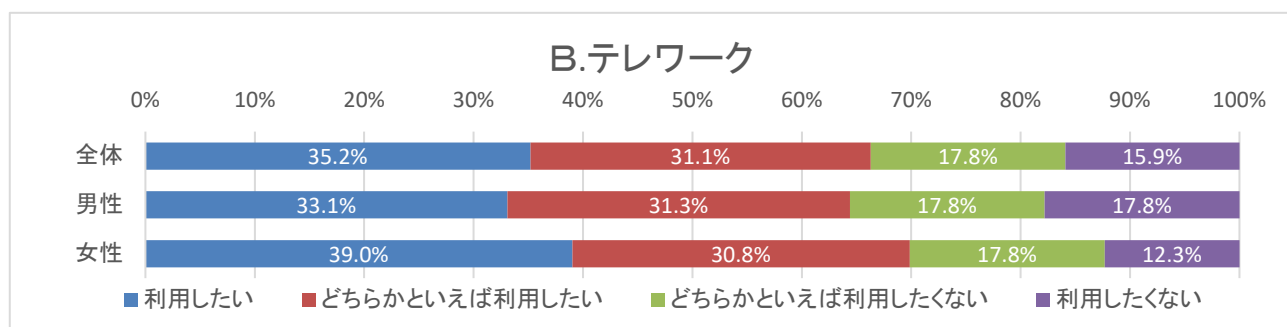
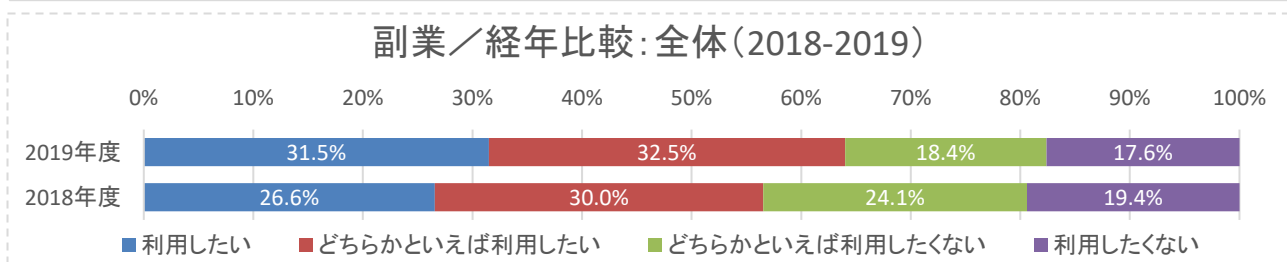
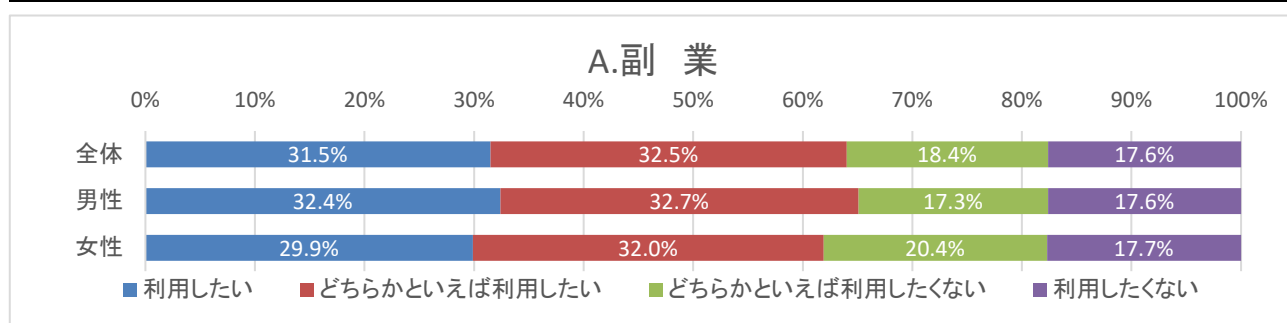
問9. あなたは「転勤」についてどのように考えていますか？

(n=426)

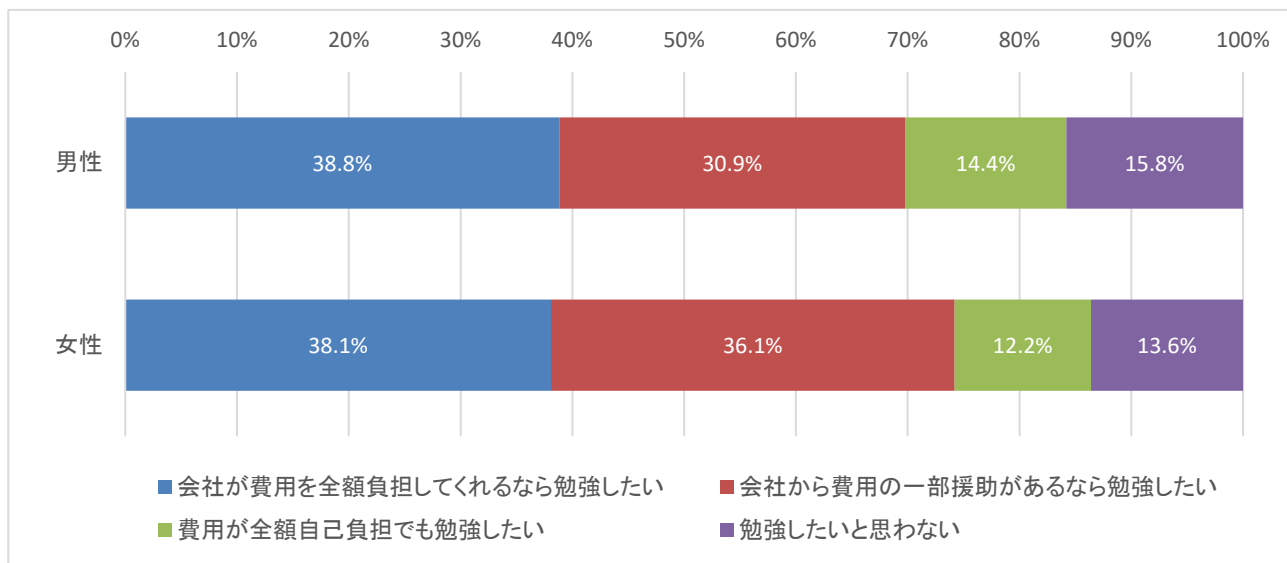
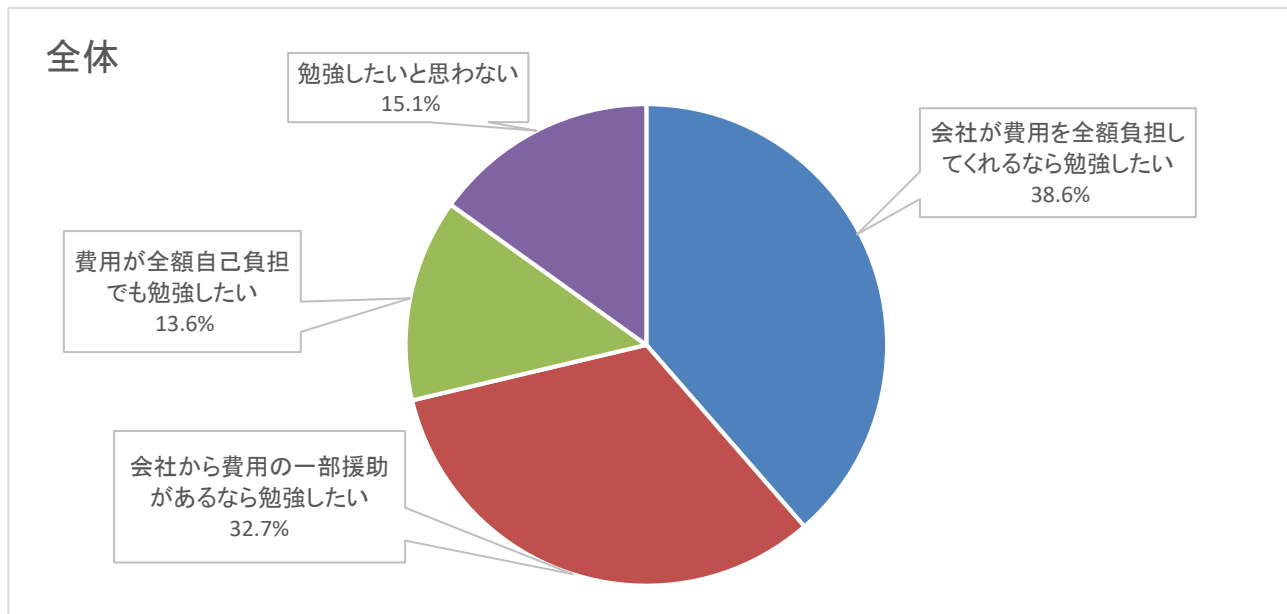


問10. 会社に以下の制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？

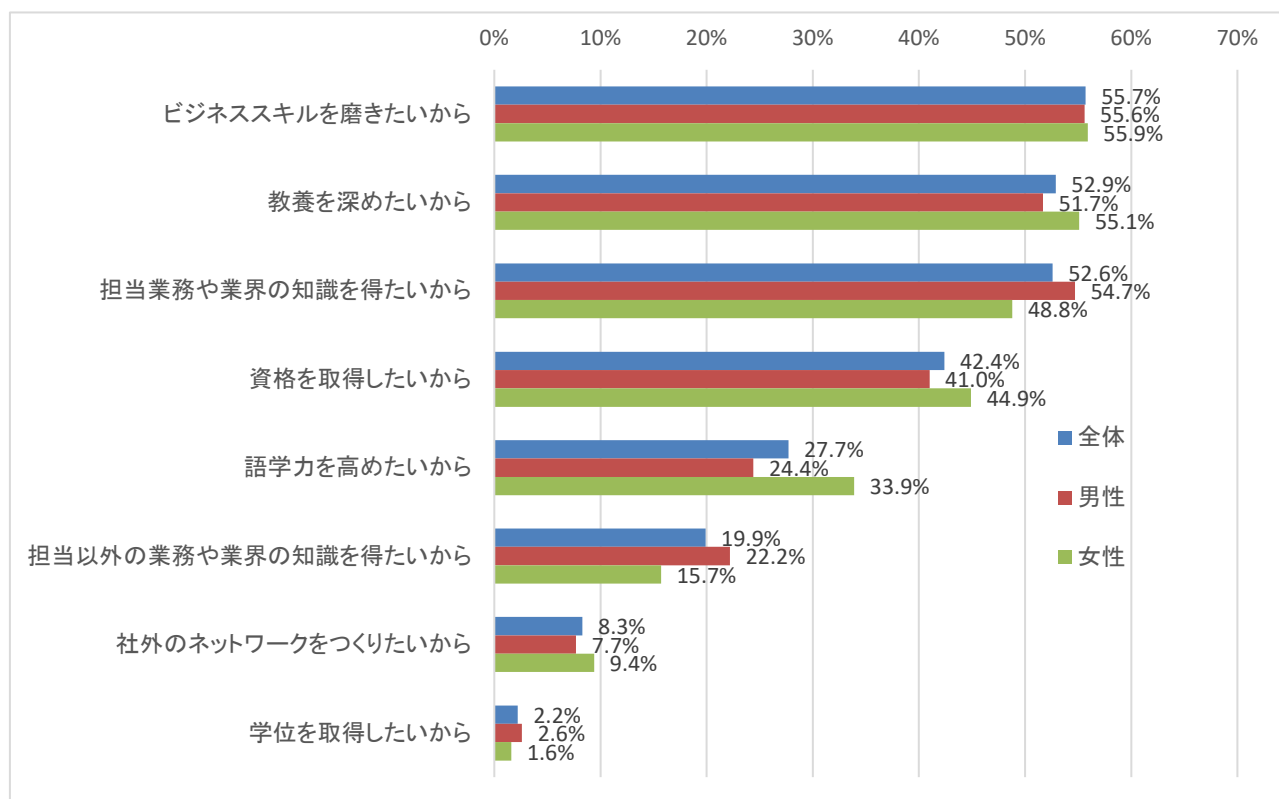
(A/n=425) (B/n=421) (C/n=422)



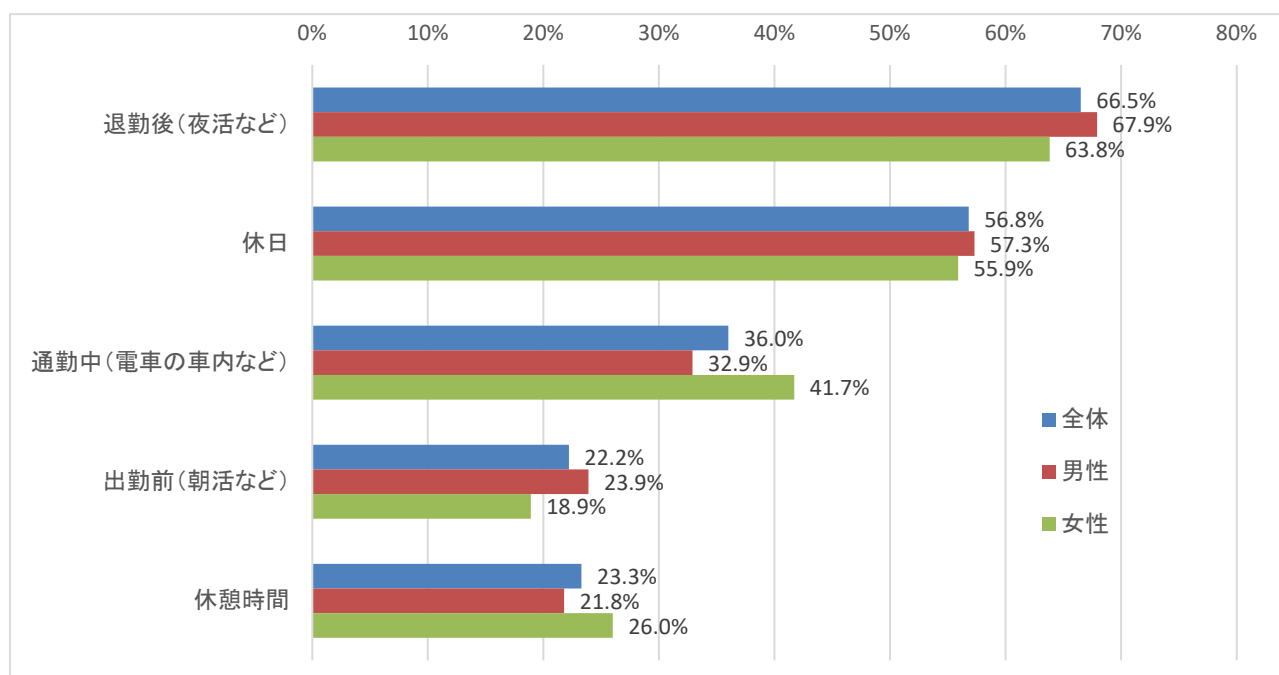
問 1 1. 業務時間外で勉強(セミナー、通信教育、学校、自習など)したいと思いますか？
(n=425)



問12. 【問11で1、2、3のいずれかに回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？
(n=361)

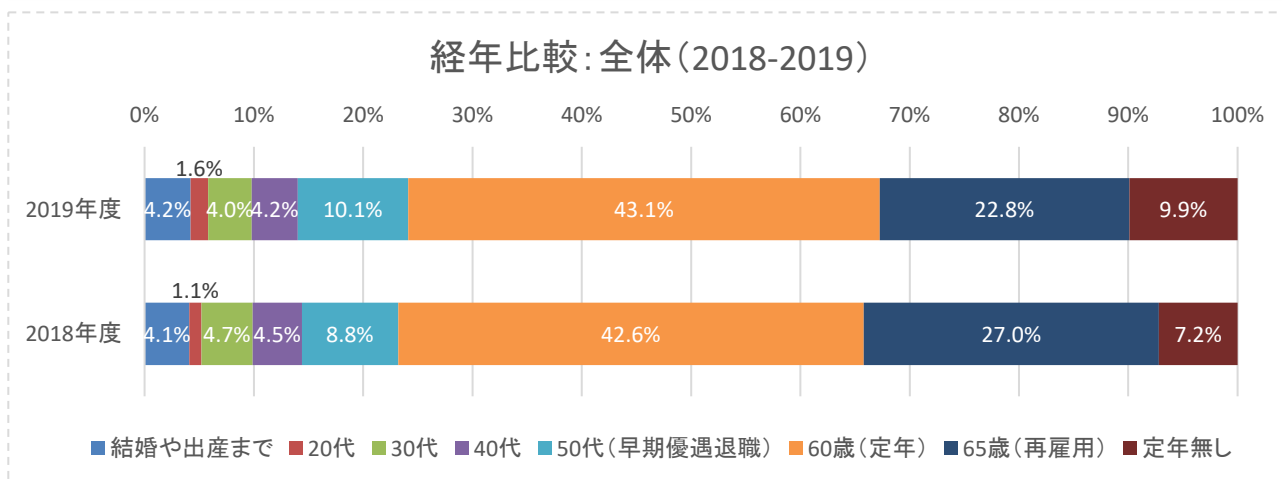
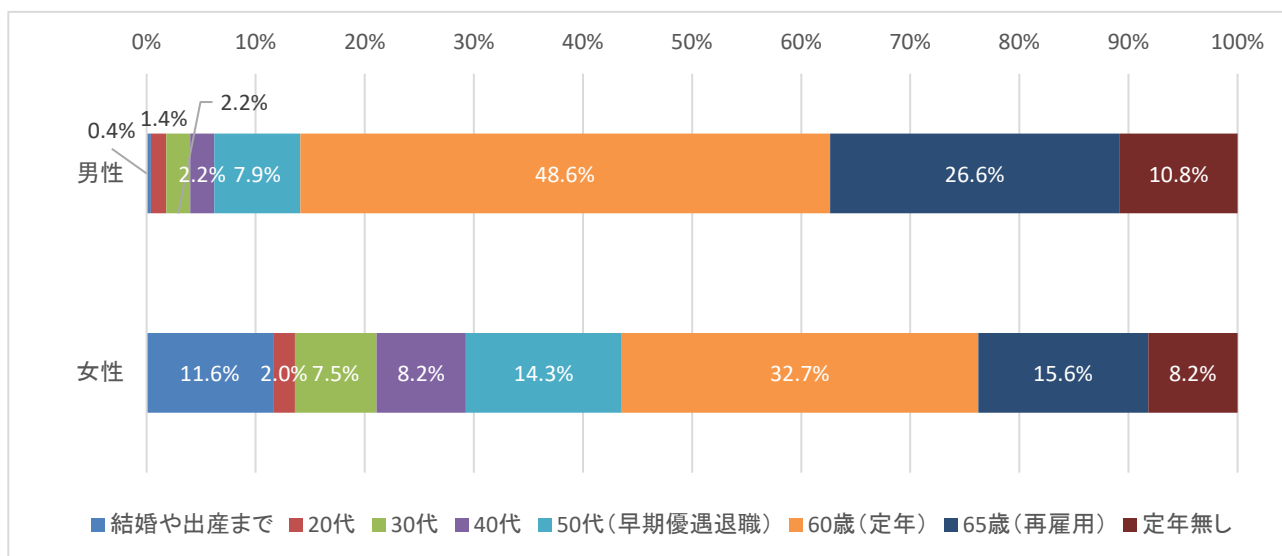
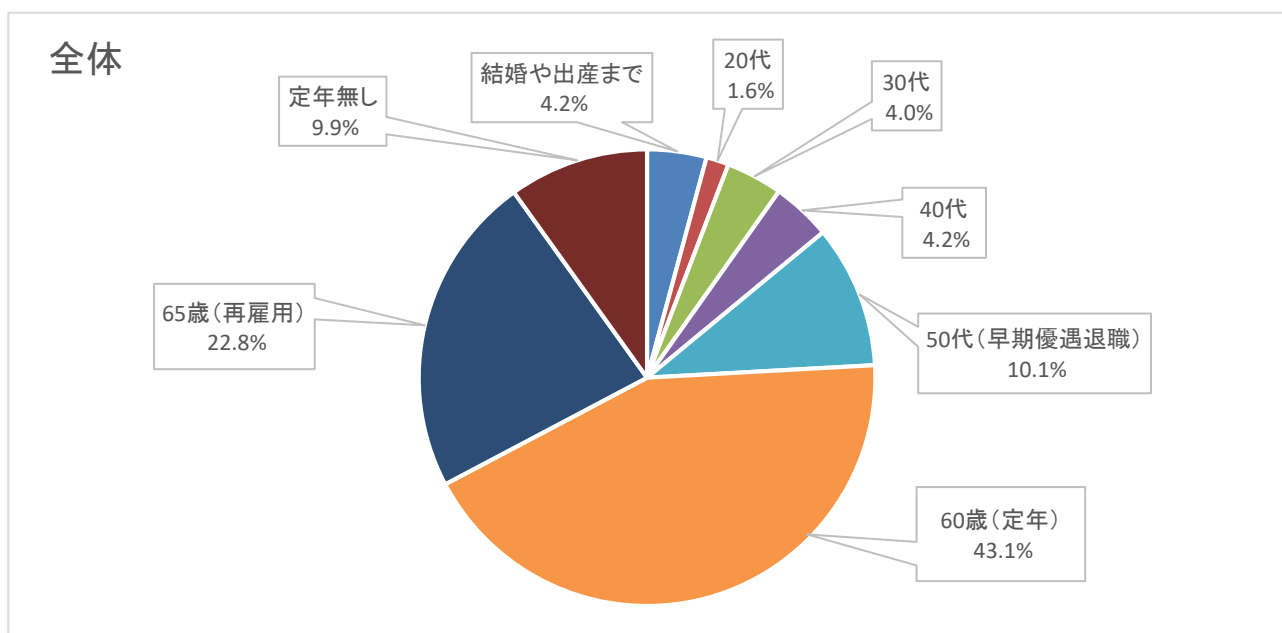


問13. 【問11で1、2、3のいずれかに回答した方へ】勉強はいつしたいと思いますか？
(n=361)



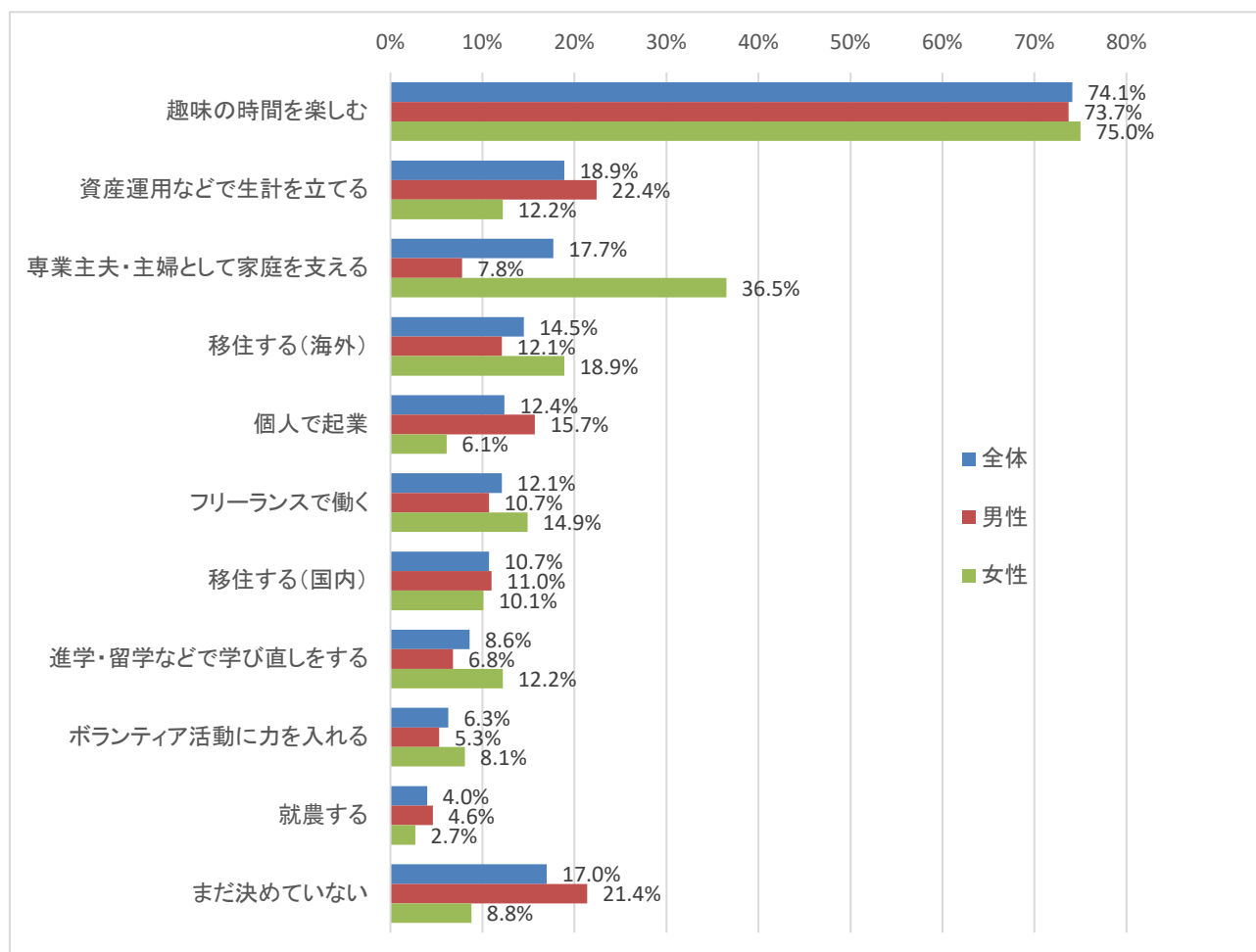
問14. “人生100年時代” と言われている中で、あなたはいつまでサラリーマンとして働きたいと思いますか？

(n=425)

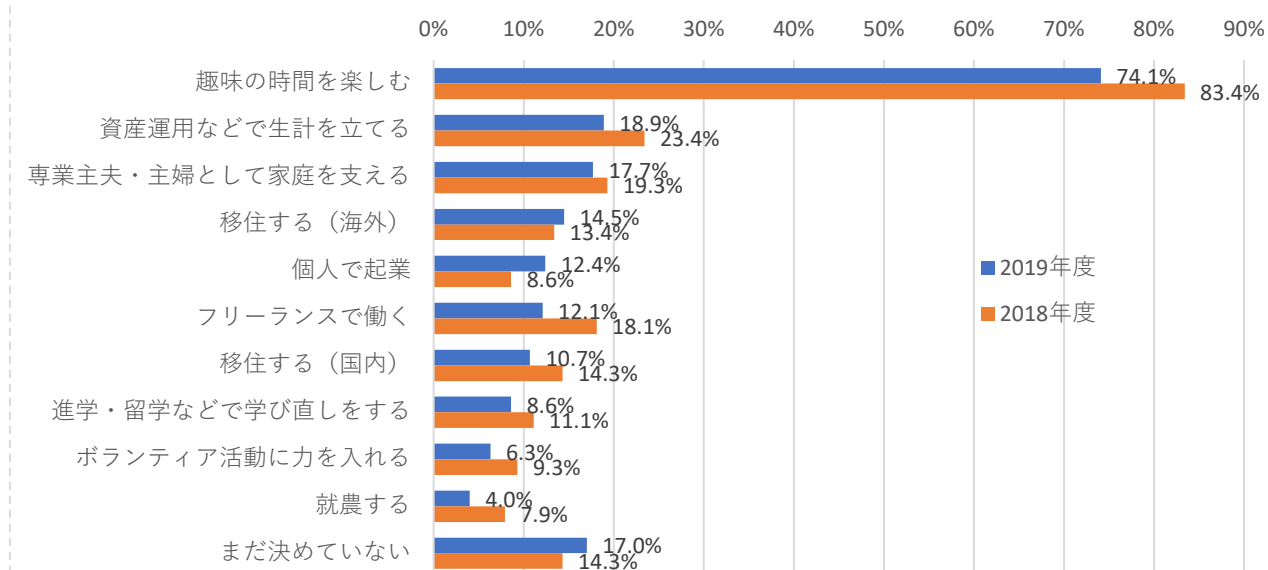


問15. 前問の年代で退職した後にやりたいことをお選びください。

(n=426)

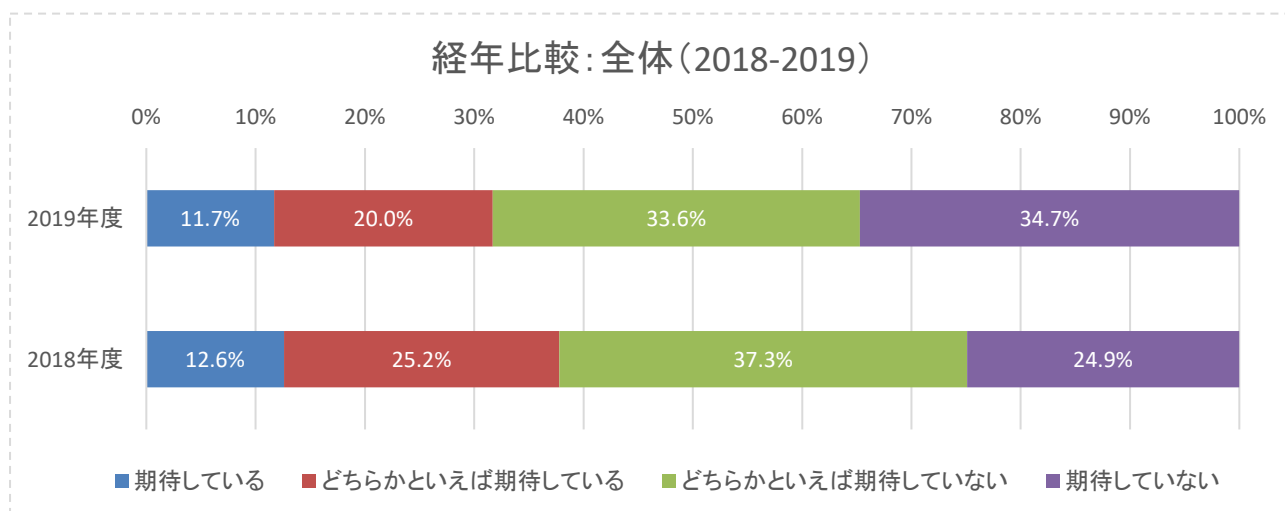
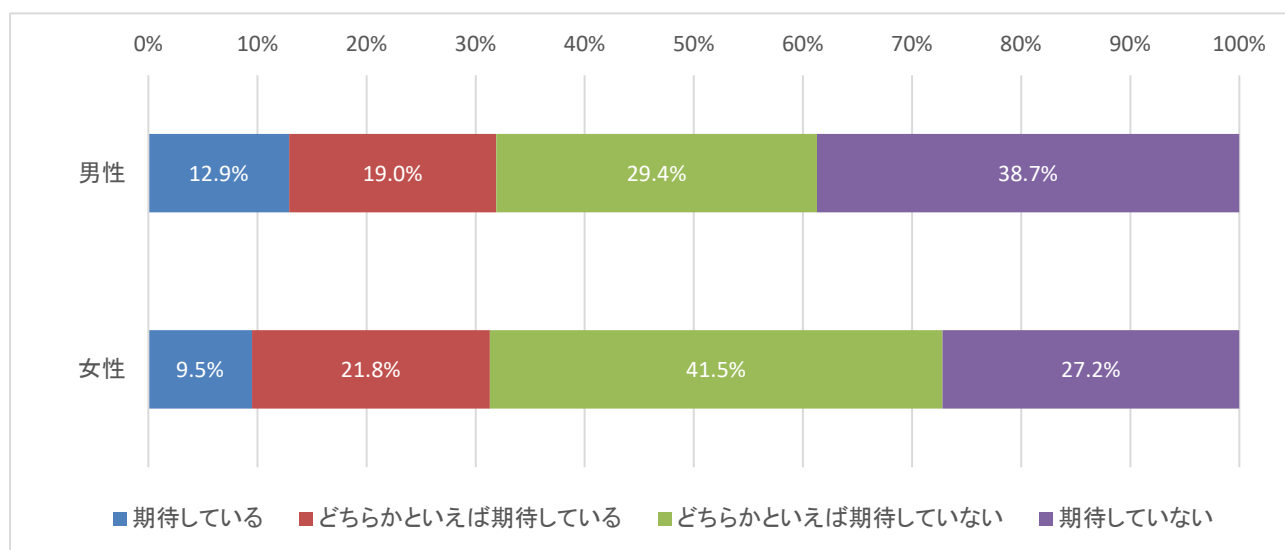
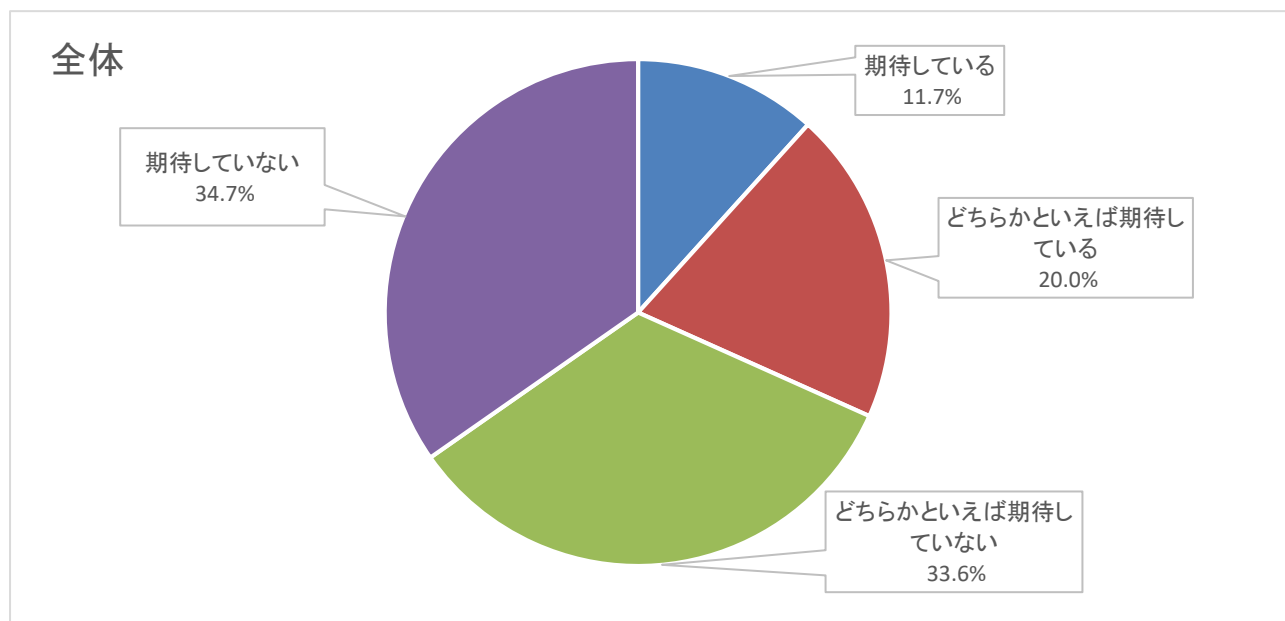


経年比較：全体（2018-2019）



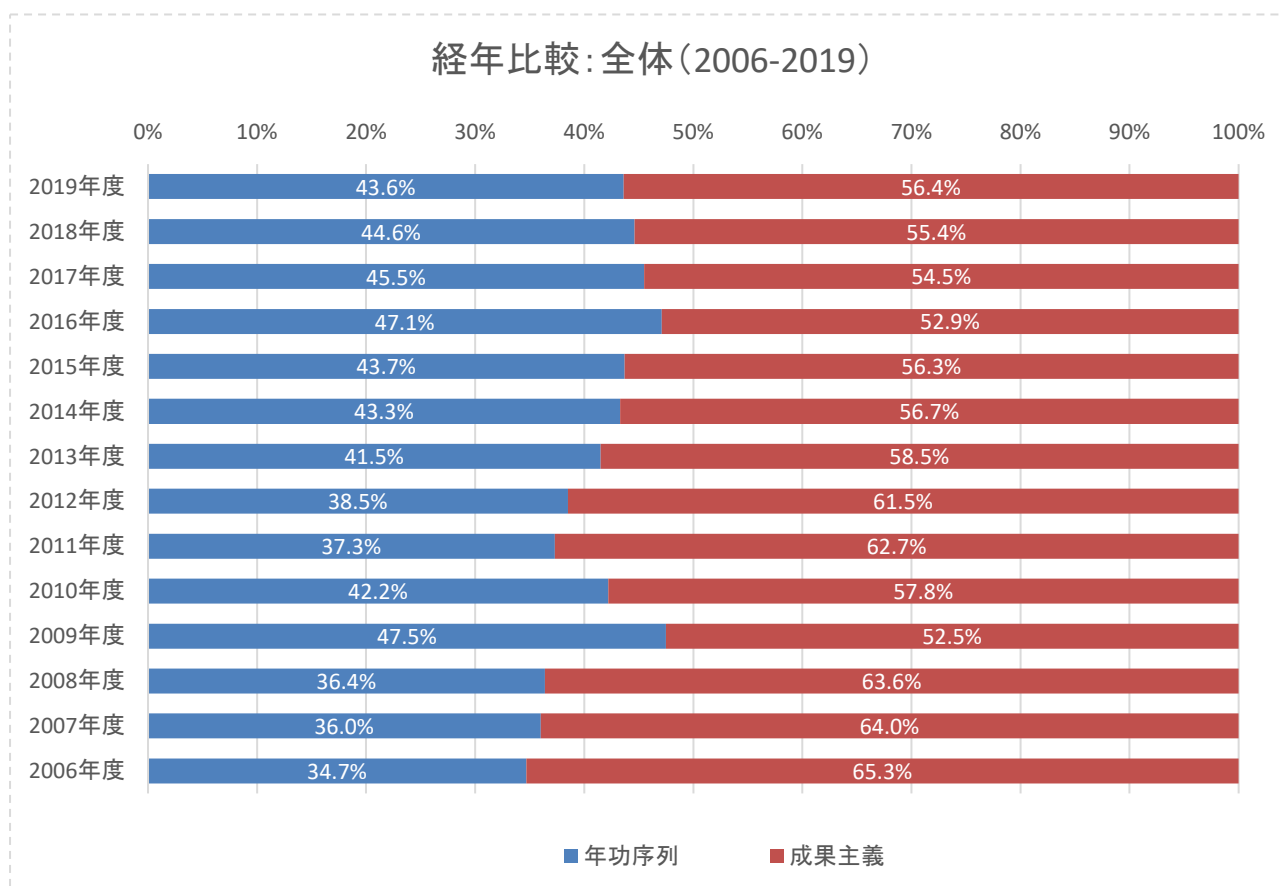
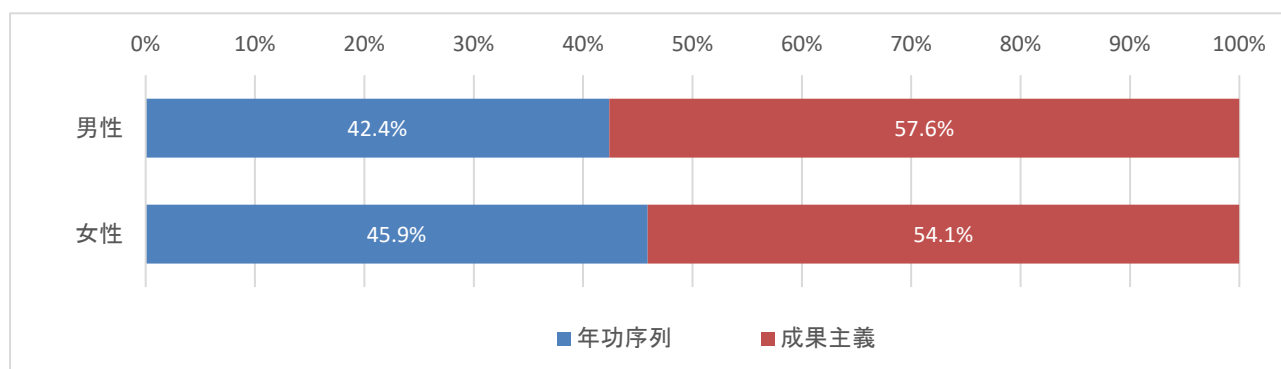
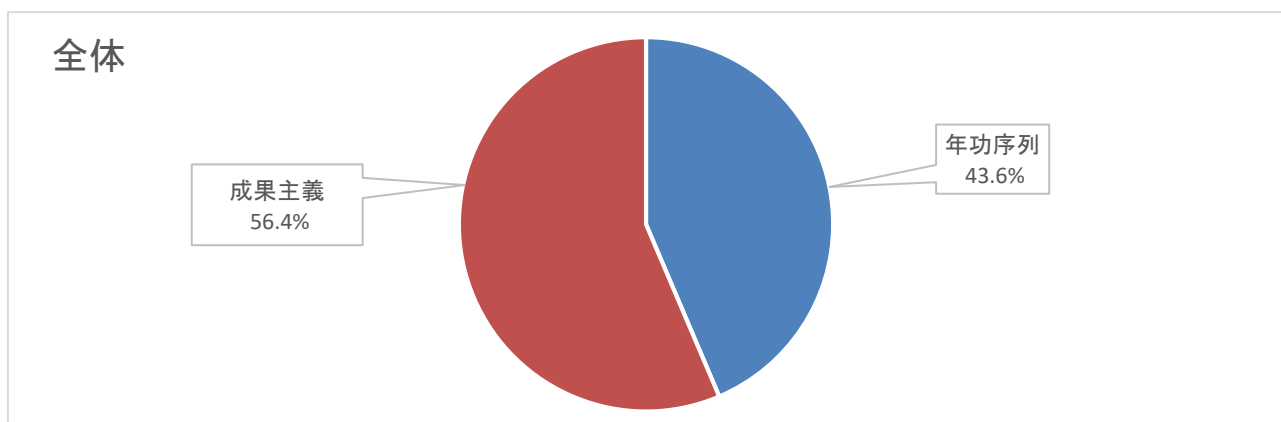
問16. 将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？

(n=426)



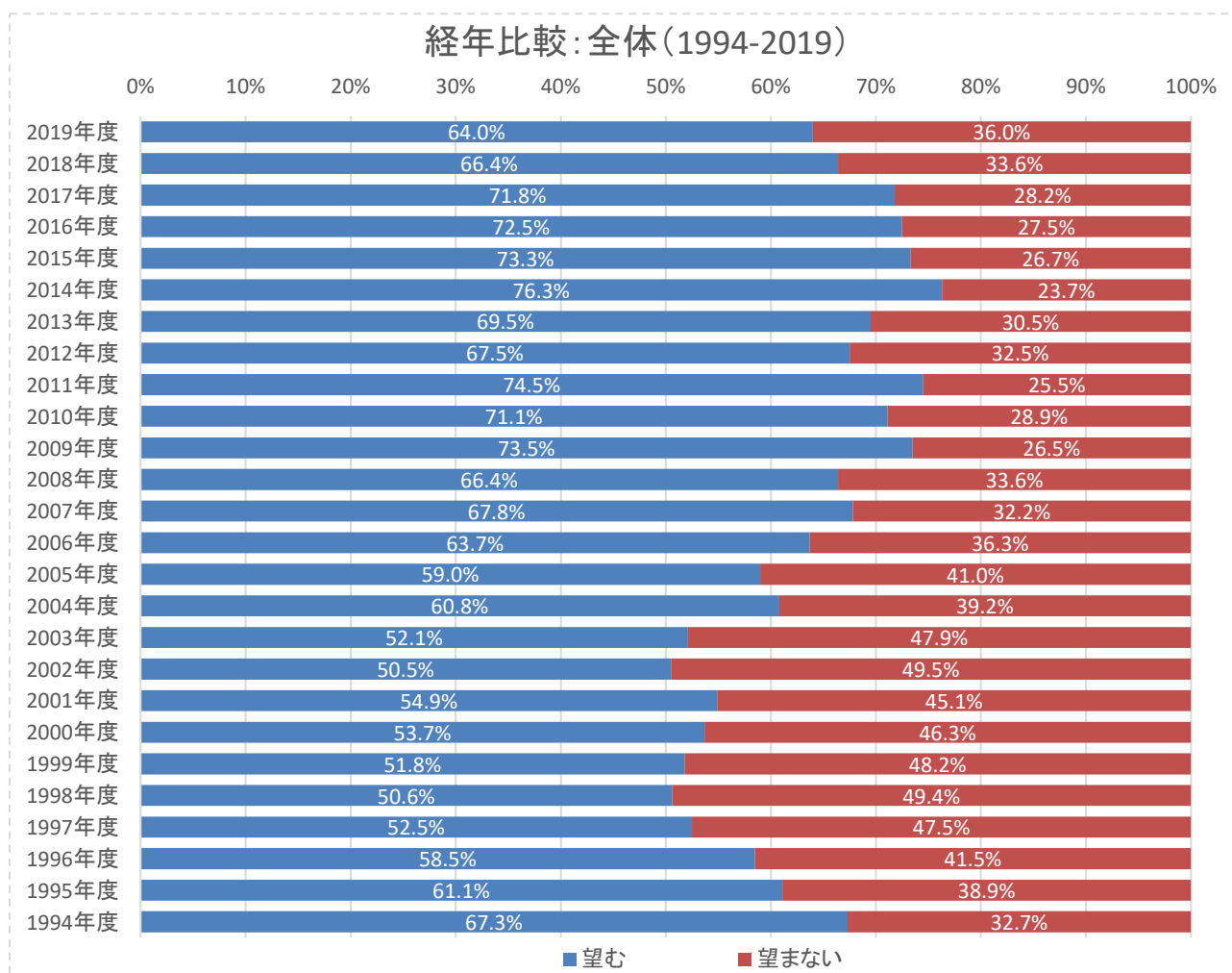
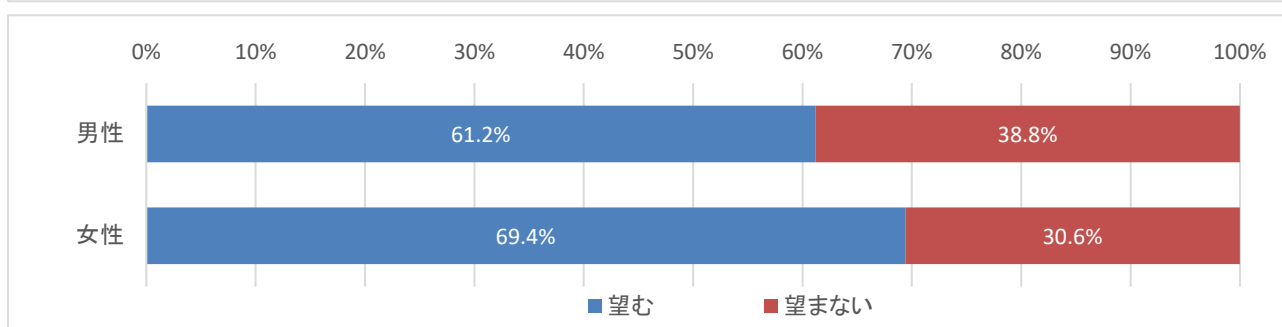
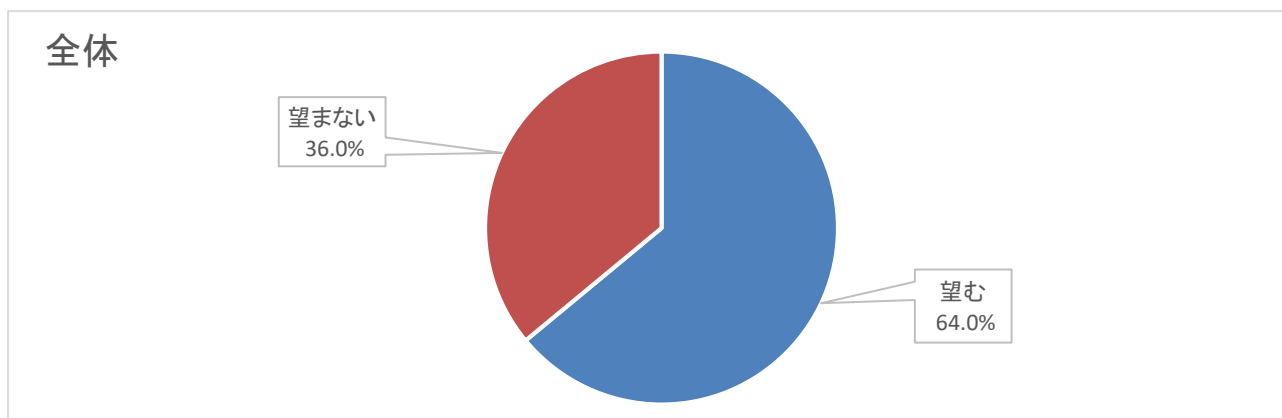
問17. 年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的に人事制度ではどちらを望みますか？

(n=424)



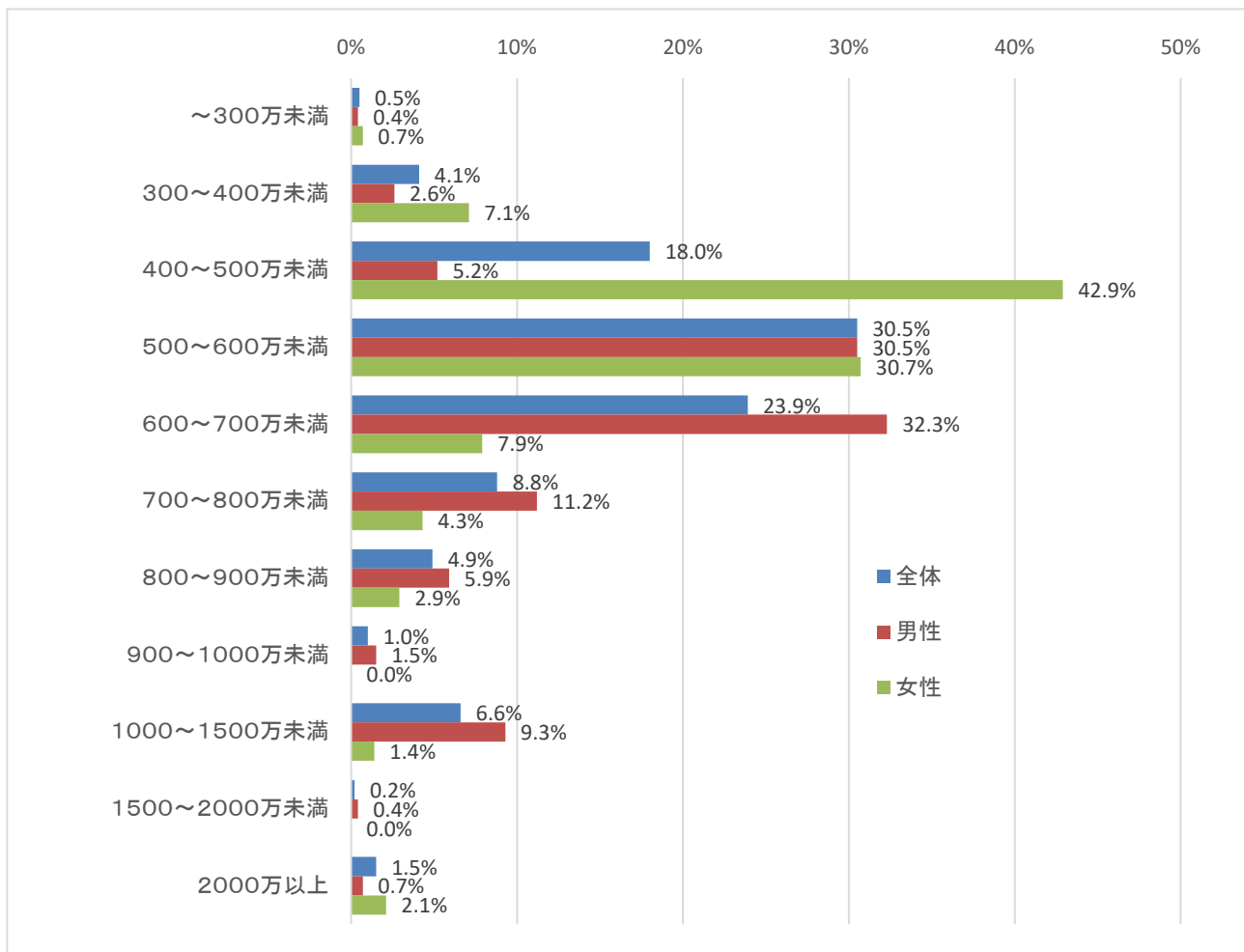
問18. “終身雇用制度”を望みますか？

(n=422)



問19. 35歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？

(n=409)



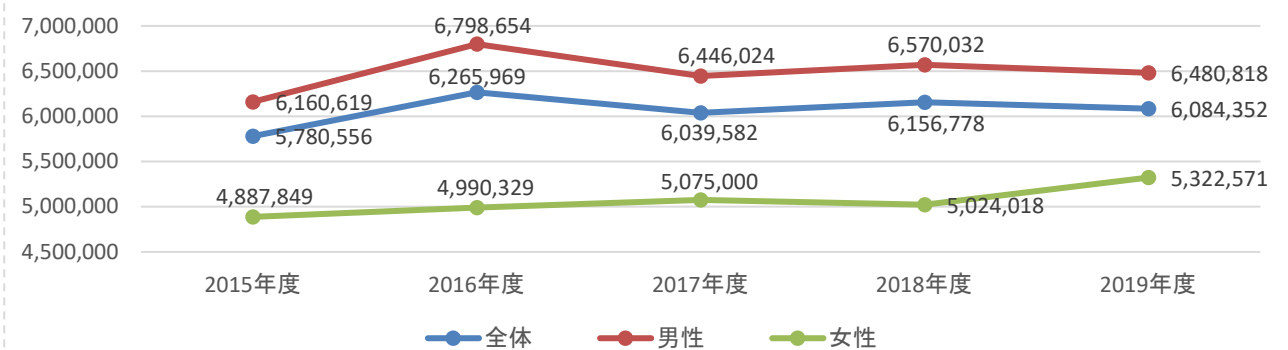
加重平均値

全体 = 6,084,352円 / 対昨年度比: -72,426円

男性 = 6,480,818円 / 対昨年度比: -89,214円

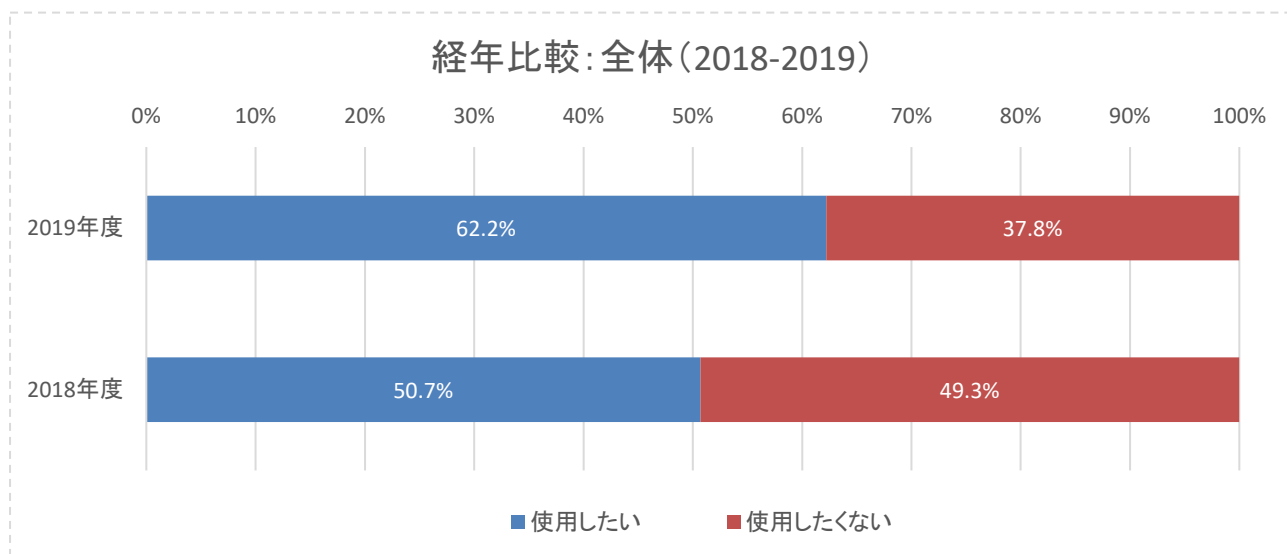
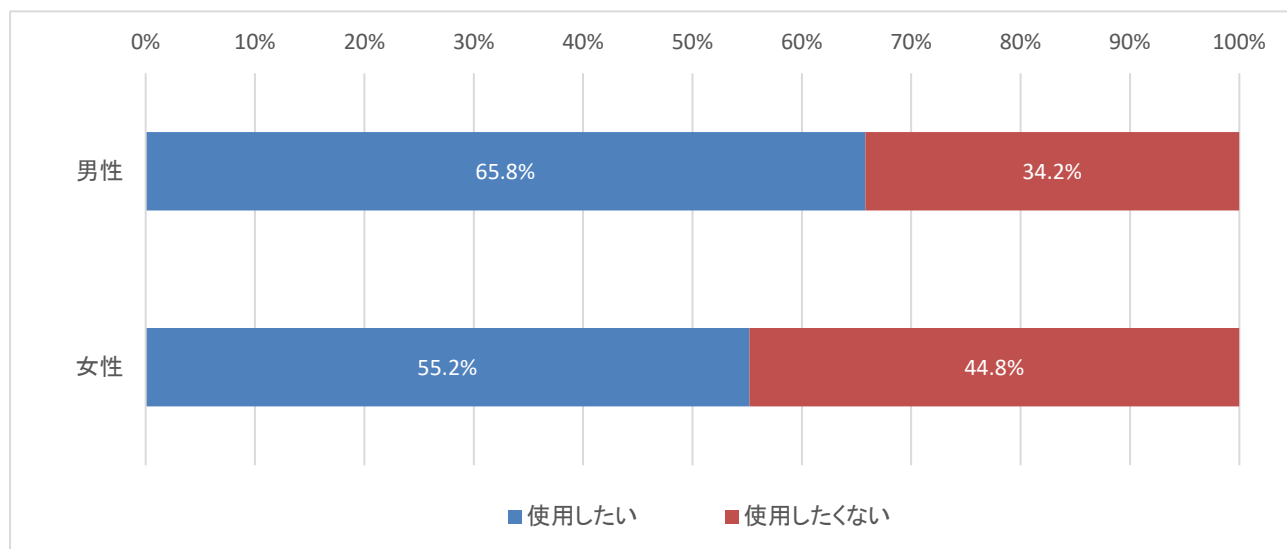
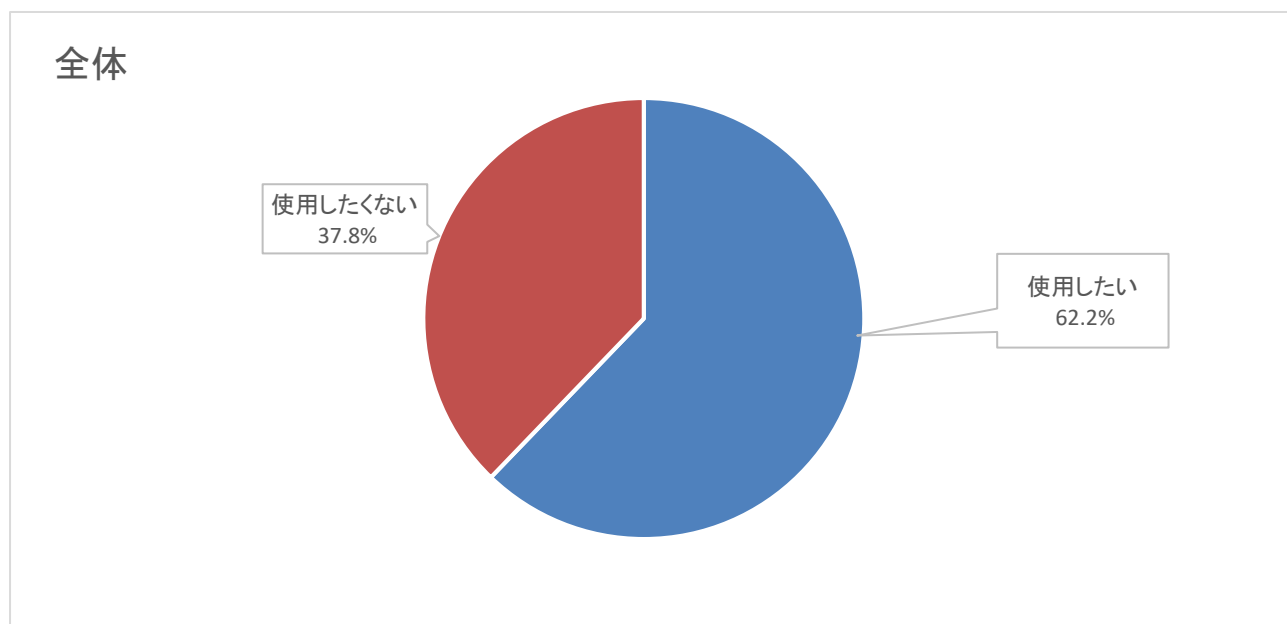
女性 = 5,322,571円 / 対昨年度比: +298,553円

経年比較:(2015-2019)



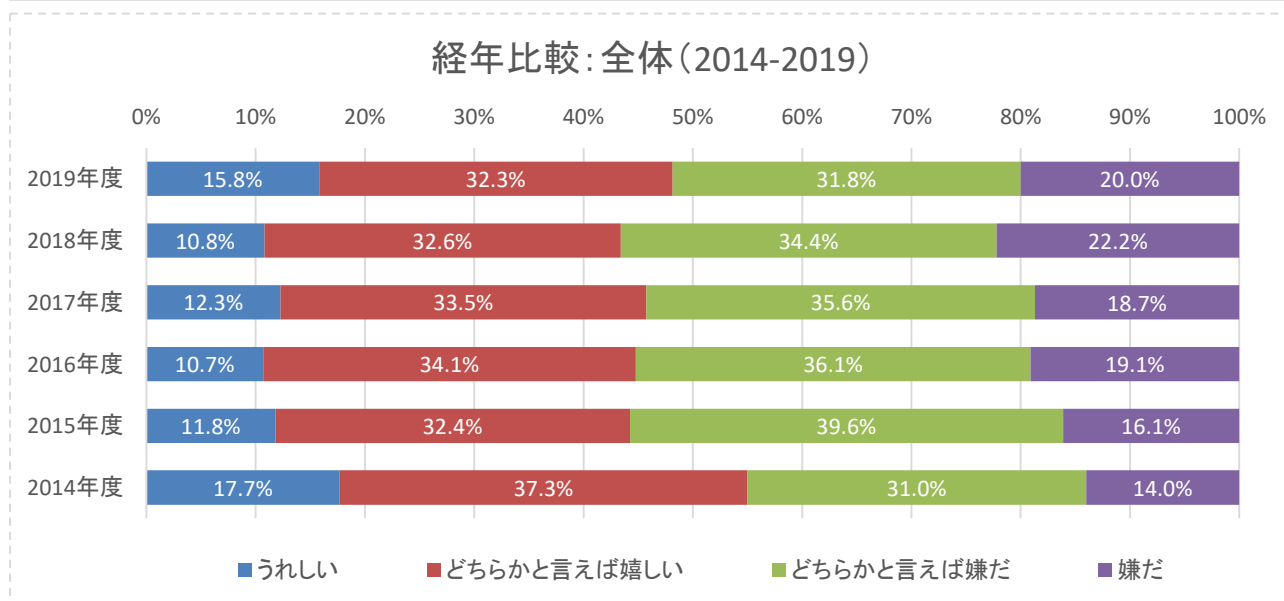
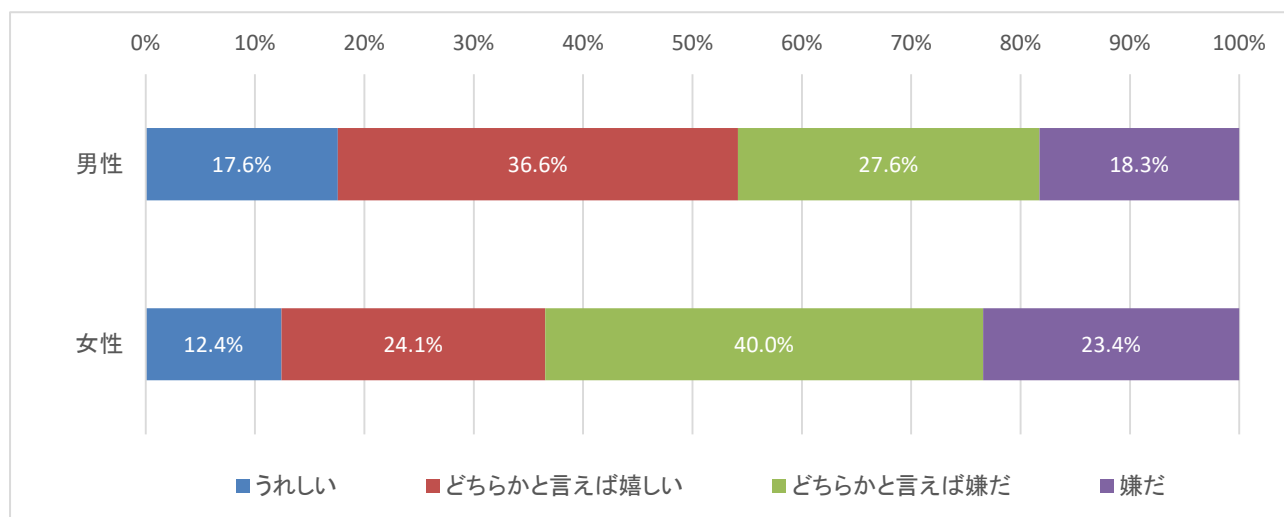
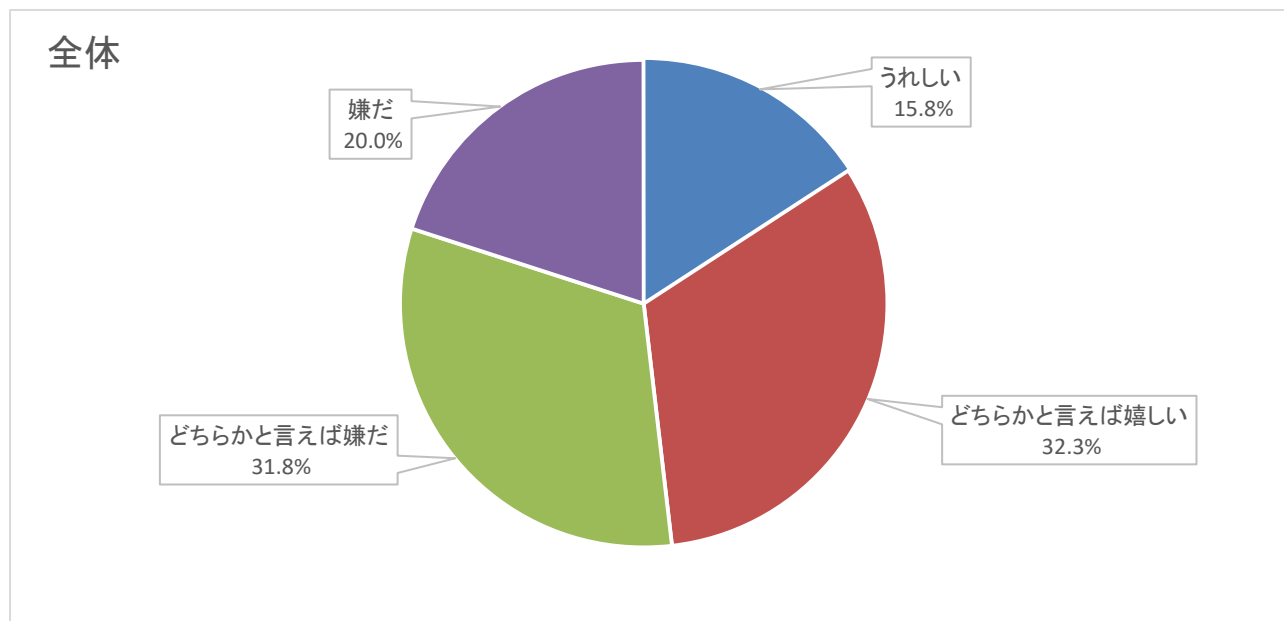
問20. LINEなどのメッセージアプリを業務でも使用したいと思いませんか？

(n=423)



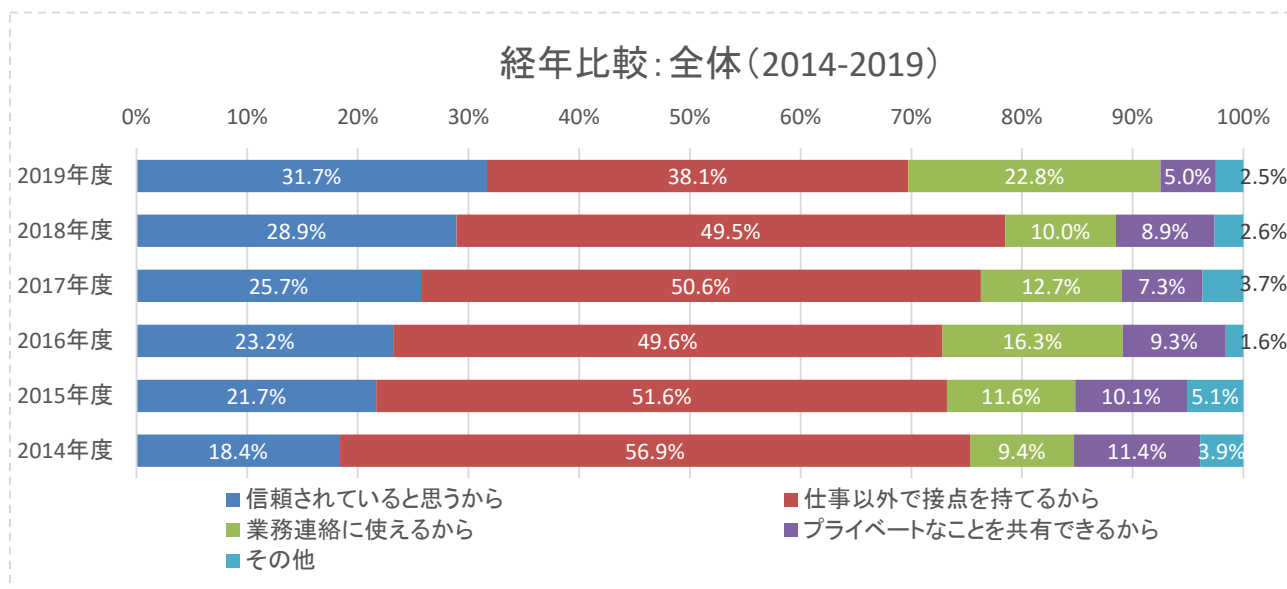
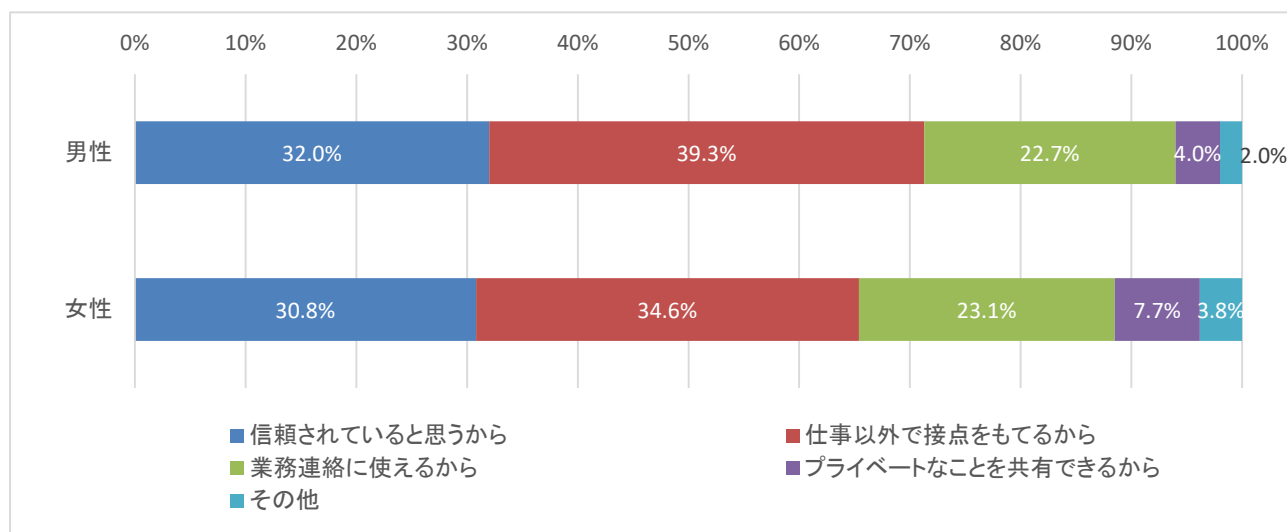
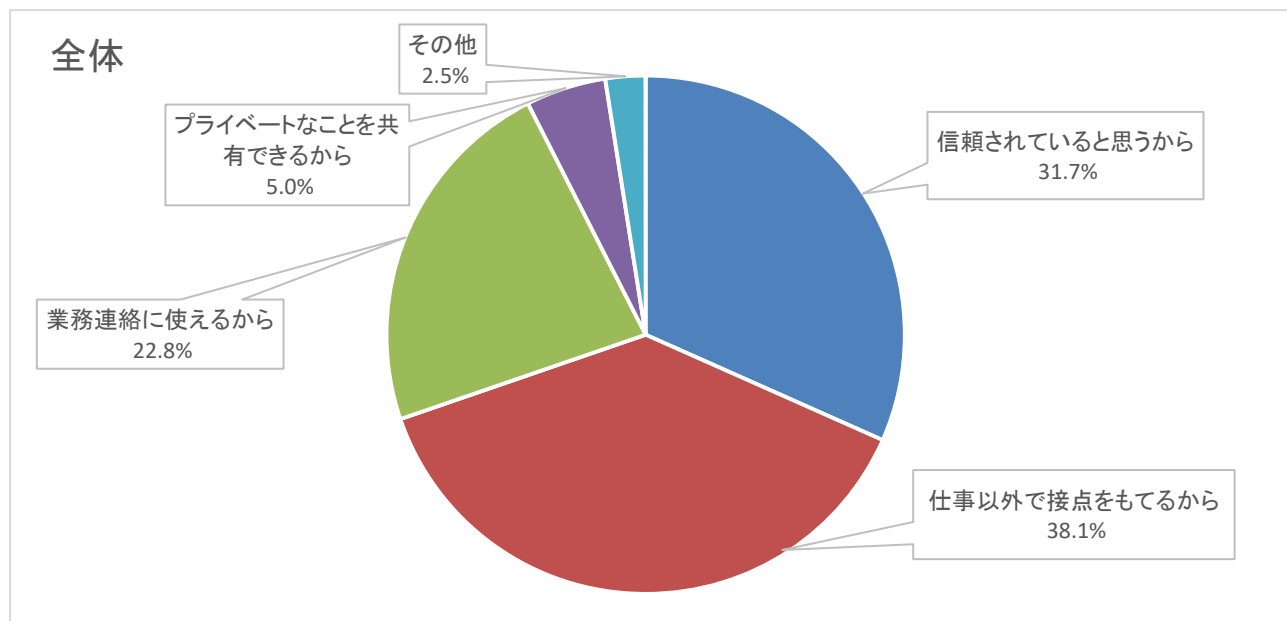
問21. あなたは会社の上司からSNSで友達申請があったらどう思いますか？

(n=424)



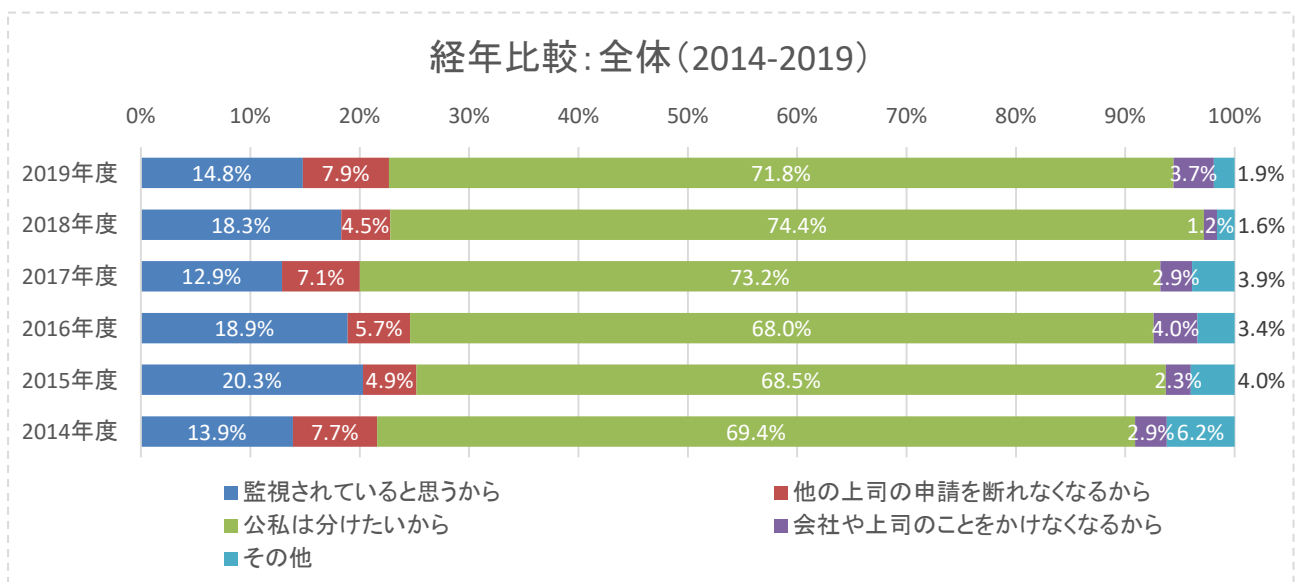
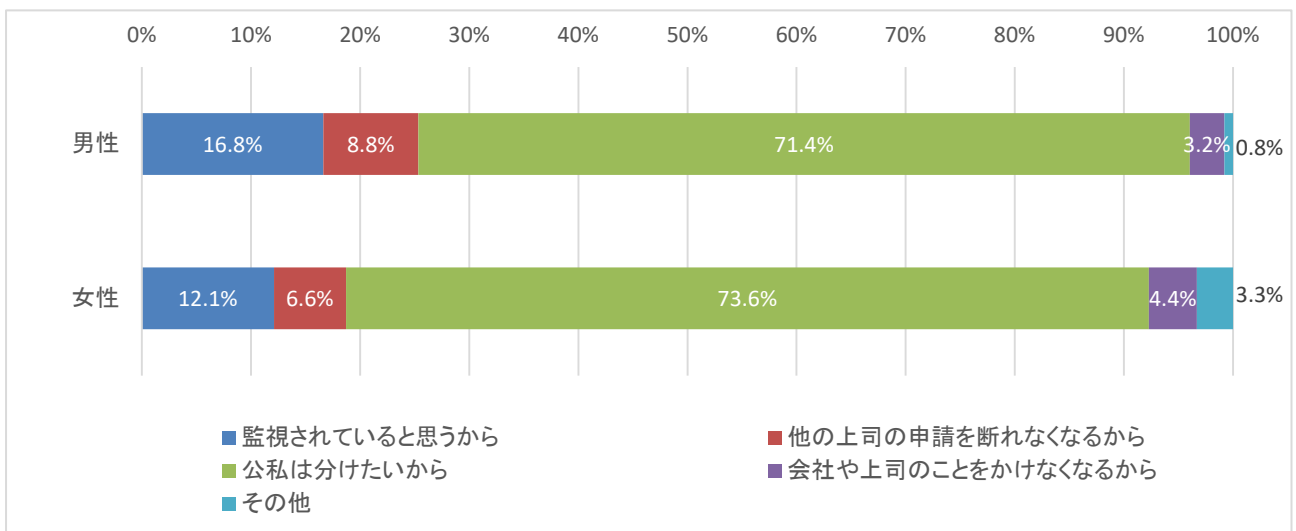
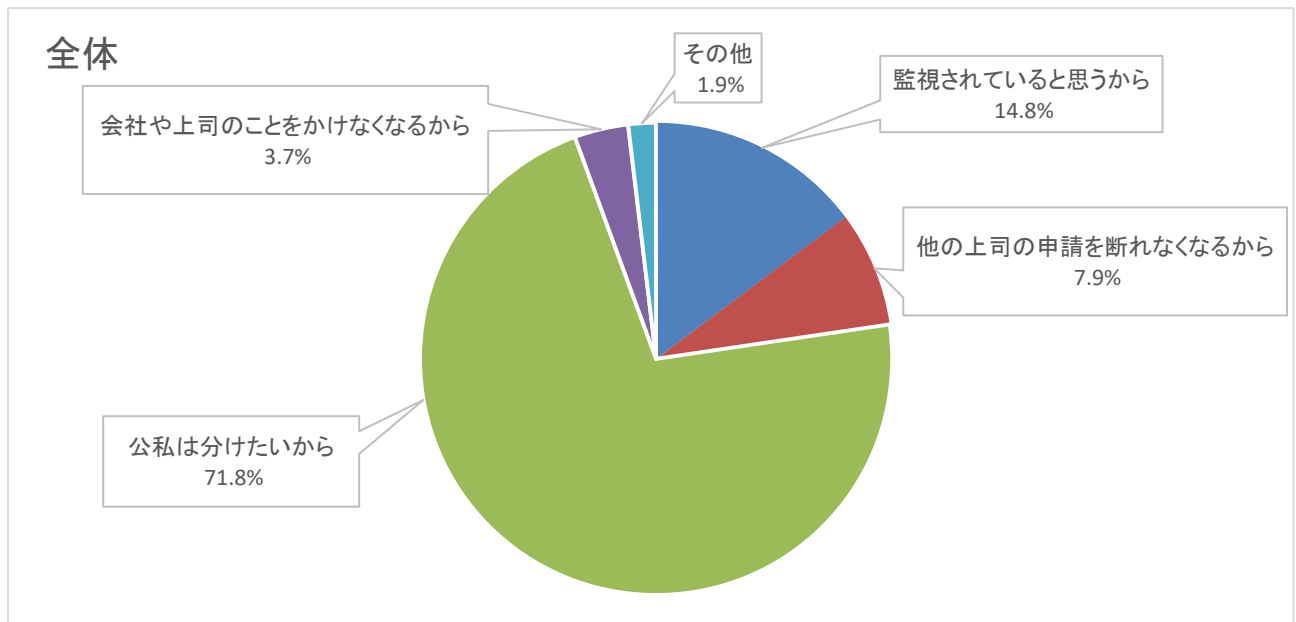
問22. 【問21で1もしくは2と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

(n=202)



問23. 【問21で3もしくは4と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

(n=216)



2019年度（第30回）
新入社員の会社生活調査

2019年6月

学校法人産業能率大学

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15

TEL : 03-5758-5117 / fax : 03-5758-5503

（総合研究所 マーケティングセンター）
